

第10回 診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会

日時：平成17年12月6日（火）  
15時00分～  
場所：厚生労働省共用第8会議室  
（6階国会側）

議 事 次 第

1. 開 会

2. 審 議

平成17年度調査研究の中間報告について

3. 閉 会

診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会委員

(五十音順)

氏名	所属
石井 孝宜	石井公認会計士事務所所長
猪口 雄二	医療法人財団寿康会病院理事長
井部 俊子	聖路加看護大学学長
今中 雄一	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授
尾形 裕也	九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座教授
柿田 章	社団法人日本私立医科大学協会常勤参与
近藤正晃 <small>ジェームス</small>	東京大学先端科学技術研究センター特任助教授
椎名 正樹	健康保険組合連合会理事
須田 英明	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授
高木 安雄	慶應義塾大学大学院教授
○ 田中 滋	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
手島 邦和	昭和大学保健医療学部教授
西岡 清	東京医科歯科大学環境皮膚免疫学教授
原 正道	公立大学法人横浜市立大学理事・附属病院長
松田 晋哉	産業医科大学公衆衛生学教授

○印は分科会長

## 平成17年度 医療のIT化に係るコスト調査

### － 中間報告（案）－

#### 1. 調査の概要

##### (1) 調査の目的

- 医療のIT化は、1) 標準化・透明化された医療情報を国民に提供し、医療機関としての説明責任を果たすこと、2) 医療の安全性の向上、3) 医療情報の共有による地域の医療資源利用の適正化、4) 院内システムの効率化（ペーパーレス化の実現、在庫の適正化など）－といった課題に応えるための手段として、現在その重要性を増している。
- しかしながら、医療の各種ITシステム（電子カルテ、オーダーリングシステム、画像ファイリングシステム、レセプト電算処理システム等）の導入・維持には、相当程度のコストを要するにもかかわらず、コスト規模に見合う効率化等が実際に達成されているかについての検証は未だ少ない。
- そこで、本調査は、医療のIT化に伴うコスト（導入に伴う追加的コスト／削減可能なコスト）の実態を把握し、診療報酬体系における評価の在り方について検討するための資料を作成するとともに、今後の医療のIT化の推進方策を検討するための基礎資料を得ることを目的とするものである。
- 平成17年度においては、医療のIT化として先進的な取り組みを行っている医療機関等を対象に、ITに係るコストの範囲等を明らかにするとともに、ITの導入効果の測定指標等を確立することを目的とする。さらに平成18年度には、より幅広い医療機関等を対象として、医療のIT化に係るコスト調査を実施するものとする。

##### (2) 調査の対象

- 病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局を調査対象とする。
- いわゆる先進的な取り組みをしている病院を10施設程度、一般診療所、歯科診療所、保険薬局も各5施設程度を選定し、ヒアリング調査を実施する。

### (3) 調査の内容

- 本調査では、以下の①～⑧に掲げる内容についてヒアリング調査を行っているところである。なお、具体的なヒアリングシートを別紙のとおりである。

#### ① 基本情報

調査施設の基本的な状況（病床数、入院・外来の状況、職員の状況、承認等の状況、診療報酬点数の算定状況）を把握。なお、入院患者数、外来患者数、職員数については、平成13年～17年までの5カ年における各年9月時点の状況の推移を把握する。

#### ② 収支情報

平成13年～16年度における医業収入、医業費用の推移を把握する。

#### ③ 資産情報

平成13年～16年度における流動資産（医薬品、診療材料、給食用材料、貯蔵品）、固定資産（医療用器械備品、その他器械備品、ソフトウェア）の推移を把握する。

#### ④ ITシステム・機器 概況情報

電子カルテ・オーダーリングシステム・各部門システムの稼働状況（稼働中／開発中／計画中／予定なし）の概況を把握する。

#### ⑤ 院内のシステム導入・運用に関する検討体制

院内ITシステムの運用・管理を担当する専門部署の状況、ベンダー（コンピューターシステムのメーカー等をいう）のサポート体制を把握する。また、システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ等の組織・開催状況を把握する。

#### ⑥ ITシステム・機器 個別情報

システム種類ごとに、契約形態、契約内容、システム構成、導入時期・方法・目的、導入前の状況、導入コスト（初期投資・調達方法・維持費用）、院内体制の変更、導入効果（削減コスト、安全性の向上、在庫の適正化、稼働率の向上）、システム導入の評価について把握する。

#### ⑦ 診療報酬請求のための入力項目とシステム化の状況

レセプト電算処理への対応状況に着目し、レセ電導入に要するコスト（各種マスター整備のための経費など）及びレセ電導入によるコスト節減効果を把握する。さらに、レセ電データの作成方法（紙伝票から手入力／オーダーリングシステムからのデータ取得／その他システムからのデータ取得）の実態を把握する。

#### ⑧ DPC対応の状況

DPCへの対応状況に着目し、DPC導入に要するコスト（コーディング、レセプト作成のためのシステム導入経費など）及びDPC導入によるコスト節減効果を把握する。

## 2. 調査の経過報告

### (1) 検討委員会の開催

主 査：松田 晋哉 産業医科大学公衆衛生学／教授

委 員：今中 雄一 京都大学大学院医学系研究科医療経済学／教授

伏見 清秀 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療情報・システム学／助教授

石川 ベンジャミン 光一 国立がんセンターがん予防・検診研究センター  
情報研究部／主任研究官

#### 第1回検討委員会

[日 時] 10月24日(月)

[議 事] 調査設計の検討

#### 第2回検討委員会

[日 時] 10月28日(金)

[議 事] 調査内容・調査対象の検討

以降、調査の進捗状況等について適宜情報交換を行う。

### (2) 調査の実施

ヒアリング調査の訪問件数：病院	9施設
一般診療所	2施設
中間報告における報告件数：単独運用している病院	4事例
共同運用している隣接する2病院	1事例
共同運用している病院と併設診療所	2事例

### (3) 今後の予定

平成17年12月

～平成18年2月 予定している他の調査対象施設への訪問を含めて調査実施・分析

3月 調査結果の報告

## (4) ヒアリング結果の概要

### ① コスト範囲

医療のIT化に係るコスト範囲は「(ベンダーへ支払う) 導入保守費用」と「院内人件費」に大別できる。

#### ア) 導入保守費用

- ・システム導入および保守に係る費用  
システムの本体価格、システム保守料、ネットワーク価格、ネットワーク保守料

#### イ) 院内人件費

- ・システム専管部署職員・他部署における兼務職員の人件費
- ・システム導入や運用方法などに係る院内検討委員会等への参加に係る人件費
- ・システム導入に伴う職員の教育に係る人件費
- ・システム運用をサポートするスタッフ（医療秘書等）の人件費
- ・レセプト電算処理システムへの対応（材料マスターの整備等）に要する人件費
- ・DPCへの対応に要する人件費        /等

### ② 導入効果

#### ア) コスト削減

システム導入に伴い紙・フィルム等が使用されなくなったことによるコスト削減効果が多く見られた。

- ・電子カルテの導入に伴う紙カルテの保管スペースが不要となった
- ・画像システムの導入に伴うフィルム費用、搬送費用の削減効果
- ・レセプト電算システムの導入に伴うコスト削減効果（専用レセプト用紙購入費、紙印刷費、編綴費、紙提出に係る輸送費の削減効果）および人件費削減効果（データ入力作業、レセプト集計作業、仕分け作業に要する時間の短縮による人件費削減効果）。

#### イ) その他の効果

その他の効果として、「情報の共有化・明確化」に伴う「安全性の向上」「業務の軽減」「人員の適正配置」などといったものが挙げられた。

##### 【安全性の向上】

- ・文字が電子化されたことにより誤読文字・文章が減少した結果、安全性・正確性の向上が図れた。特に薬品のインシデントが減少した。

##### 【業務の軽減】

- ・臨床検査システム導入に伴い採血用スピッツの自動作成が可能となり、看護師の業務軽減が図れた。

##### 【人員の適正配置】

- ・電子カルテシステムの導入により、病歴室スタッフの一部を地域医療連携センターでの新規業務（電話予約サービス）に配置転換することができた。
- ・システム導入により院内事務文書の形式が統一化された結果、各科間の人員の配置転換が容易になった。

### 3. 調査結果の報告（3月）に向けての対応

- 今後さらなるヒアリング調査・分析を進めるとともに、各医療機関等の IT 導入効果をはじめとして、その問題点・課題にも考察を加える予定である。

## 4. ヒアリング事例の概要

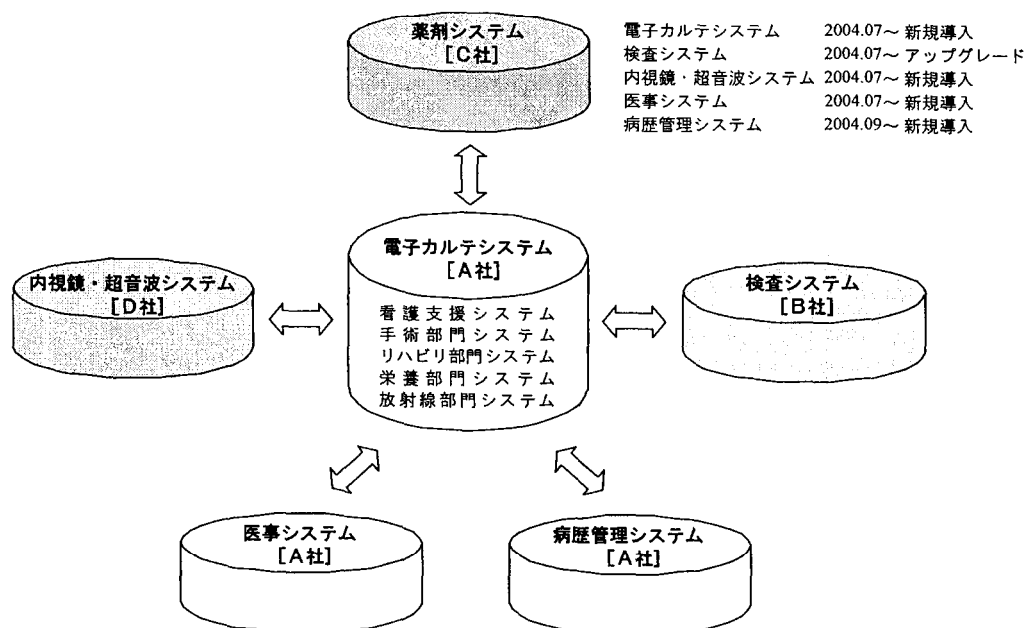
### (1) A病院 [併設一般診療所と院内システムを共有]

特 徴：急性期病院
※数年前に外来機能を分離し、一般診療所として併設
病床規模：200～299床
医業収入：年間50～60億円
承認状況：臨床研修病院・開放型病院

#### ① システム・機器の構成

電子カルテシステム+オーダーリングシステム [看護支援システム・手術部門システム・リハビリ部門システム・栄養部門システム・放射線部門システム] を中心に、医事システム (レセプト電算処理システムを含む)、内視鏡・超音波システム、薬剤システム、検査システム、病歴管理システムの各部門システムと連動。

なお、電子カルテ+オーダーリング、医事システム、病歴管理システムが同じベンダーで、その他の部門システムがそれぞれ異なるベンダー (マルチベンダー型)。



また、機器の構成としては、A病院内にはデスクトップ103台、ノートパソコン88台、プリンタ37台が整備されている。また併設診療所にもデスクトップ98台、ノートパソコン10台、プリンタ64台が整備されており、病院と診療所の2つの環境を1つのサーバで管理している。



## ② 電子カルテシステム導入の目的

1. 医師・看護師等コメディカルが情報を共有化することによる業務効率の向上
2. リスクマネジメントの向上（転記による情報伝達誤りの防止・配合禁忌・投与量の誤りの防止）
3. 診断群分類別包括評価（DPC）への対応
4. 施設間（病院一併設診療所）における情報の共有化

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) ベンダーへの支払い

電子カルテシステム	376,000,000 円	[5年リース]
うち) 医事システム	47,000,000 円	[5年リース]
検査システム	9,000,000 円	[5年リース]
超音波・内視鏡システム	6,000,000 円	[5年リース]
病歴管理システム	7,000,000 円	[5年リース]
物流管理システム	2,000,000 円	[購入]
計	447,000,000 円	
年間保守料	22,500,000 円	

【参考 1】1床当たり約 190～200 万円

【参考 2】単年度医業収入の約 10%

※A 病院のシステム導入の特徴として、同一法人内の A 病院を含む 3 病院において順次導入したことにより、ノンカスタマイズと先行導入病院からのマスター・プログラムモジュールの流用が可能となり、相当程度の購入コスト削減を達成できている。

※【参考 1】1床当たり費用については、コスト総額を病床数で除したものである。

※【参考 2】単年度医業収入に対する比率については、実際には複数年に及ぶ支払費用を試みに単年度医業収入比でみたものであり、実際に単年度で支出している金額の対医業収入比率とは異なることに留意。

### 2) 院内マンパワーの投入

#### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

##### 【システム専管部署】

医事職員 2 名により構成

※システム導入にあたり、システム専管部署へ 1 名異動

##### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

電子カルテシステム導入にあたり、病院長が委員長を務める院内検討委員会が設置される。現在は、日常業務のなかで発生する問題点への対策案を検討する委員会として運営されている。

システム専管部署 1 名、医師 4 名、看護師 2 名、技師（臨床検査技師）1 名、医事

職員 3 名、法人本部職員 1 名一の計 12 名により構成される。

なお、年 12 回の定例会議を開催している。

※医事システム月例会（10 数名にて構成）を年 12 回開催

### ○システム導入のためのスタッフ研修の実施

全ての医師に対して 1 回 2 時間の研修の合計 4 回の受講を義務付けた。

### ○医師のシステム入力支援のための医療秘書の配置

電子カルテシステムへのデータ入力については、導入直後は医師の負担が大きかったが、現在は医師 1 名に対し、医療秘書 1 名が配置されている（合計 37 名が医療秘書として勤務）。医療秘書の人件費はかかるものの、医師の診療効率の向上がみられる。

### ○レセプト電算処理システムの標準マスターの整備

特に材料マスターの整備のための職員の負荷（約 1.5 人月）が大きい。

## ④ システム導入の効果

### 1) 削減可能コスト

紙カルテの保管スペースの削減が可能になった。

ただし、患者への説明の際などにシステム内のデータをプリントアウトする機会も増えるため、実際にはペーパーレス化は進んでいない印象がある。

### 2) その他の効果

#### ○情報の共有化

情報共有による相互参照・確認により、正確性の向上や責任意識の向上が図れている。特に情報の共有化については、院内の独自調査によると 86%の職員が「情報の共有化が図られている」と回答している。

#### ○安全性の向上

誤読文字・文章の回避、実施入力によるチェック体制の確立をなすことができた。ただし、投薬等におけるインシデントが減少していないため、システム導入に伴う新たなリスクの可能性も考慮する必要がある。また、医師の指示・処方変更等もリアルタイムに伝達されにくいというリスクがある。

#### ○業務の効率化

院内の独自調査によると、60%の職員が「業務が効率化された」と回答している。

(2) B病院 [同一法人の隣接C病院と院内システムを共有]

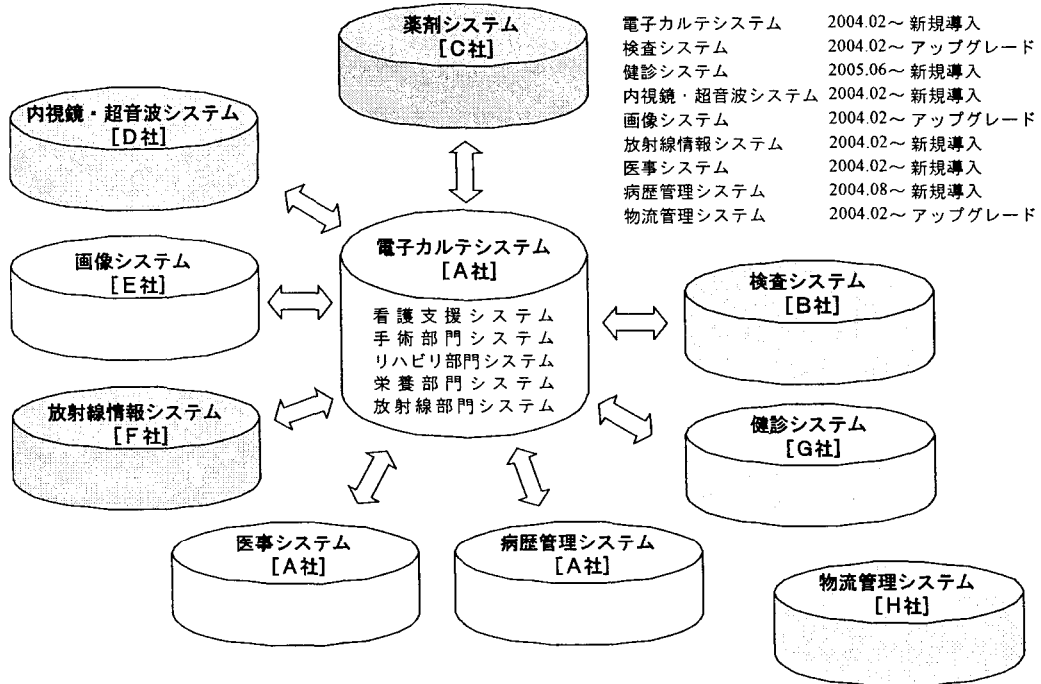
特 徴	: B病院 急性期病院 / C病院 亜急性期・慢性期病院
病床規模	: B病院 400~499床 / C病院 100~199床
医業収入	: B病院 年間 100~110億円 / C病院 年間 10~20億円
承認状況	: B病院 臨床研修病院・開放型病院

① システム・機器の構成

電子カルテシステム+オーダーリングシステム [看護支援システム・手術部門システム・リハビリ部門システム・栄養部門システム・放射線部門システム] を中心に、医事システム (レセプト電算処理システムを含む)、内視鏡・超音波システム、画像システム、放射線情報システム、薬剤システム、検査システム、健診システム、病歴管理システムなどの各部門システムと連動。

なお、電子カルテ+オーダーリング、医事システム、病歴管理システムが同じベンダーで、その他の部門システムがそれぞれ異なるベンダー (マルチベンダー型)。

また、B病院とC病院を光ファイバーで接続し、2つの環境をB病院内の1つのサーバで管理している。



## ② 電子カルテシステム導入の目的

1. 医師・看護師等コメディカルが情報を共有化することによる業務効率の向上
2. リスクマネジメントの向上（転記による情報伝達誤りの防止・配合禁忌・投与量の誤りの防止）
3. 診断群分類別包括評価（DPC）への対応

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) ベンダーへの支払い

電子カルテシステム	650,000,000 円	[購入]
うち) 医事システム	85,000,000 円	[購入]
検査システム	16,000,000 円	[購入]
健診システム	3,000,000 円	[購入]
PACS & RIS & 超音波・内視鏡システム	60,000,000 円	[購入]
病歴管理システム	14,000,000 円	[購入]
物流管理システム	2,000,000 円	[購入]
計	745,000,000 円	
年間保守料	15,900,000 円	

【参考 1】1床当たり約 120～130 万円（B 病院と C 病院の許可病床数合計で除す）

【参考 2】単年度医業収入の約 7%（B 病院と C 病院の医業収入合計で除す）

※B 病院・C 病院では、ノンカスタマイズによる諸経費の節減及び稼働時期の短縮によるトータルコストの低減を誘引できている。

※子カルテシステムの B、C 各病院の内訳は、B 5.0 億円、C 1.5 億円となっている。

※【参考 1】1床当たり費用については、コスト総額を病床数で除したものである。

### 2) 院内マンパワーの投入

#### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

##### 【システム専管部署】

B 病院：医事職員 4 名により構成※システム導入にあたり、システム専管部署へ 2 名異動

C 病院：医事課職員 1 名が兼任

##### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

B 病院：システム専管部署 1 名、医師 6 名、看護師 3 名、薬剤師 3 名、技師（管理栄養士）1 名、医事職員 1 名、法人本部職員 1 名—の計 14 名により構成。

C 病院：システム専管部署 1 名、医師 1 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、技師（リハビリ系）3 名、医事職員 1 名—の計 8 名により構成。

なお、各病院ともに年 12 回の定例会議を開催している。

※B・C 病院共同で医事システム月例会を年 12 回開催

#### ○レセプト電算処理システムの標準マスターの整備

材料マスターをはじめ、標準マスター整備のための職員の負荷（約 0.5～1.5 人月）

#### ④ システム導入の効果

##### 1) 削減可能コスト

紙カルテの保管スペースの削減が可能になった。

C 病院では医事業務全般における超過勤務の軽減がみられる。一方で、B 病院では、看護業務における超過勤務の軽減効果はあまりみられないという意見もみられた。

##### 2) その他の効果

###### ○情報の共有化

情報共有による相互参照・確認により、正確性の向上や責任意識の向上が図れている。特に C 病院では、情報の共有化によるリハビリテーション実施計画書の作成の負荷の軽減もあり、電子カルテシステムが亜急性期・慢性期の療養に向いているシステムであるとの意見があった。

###### ○安全性の向上

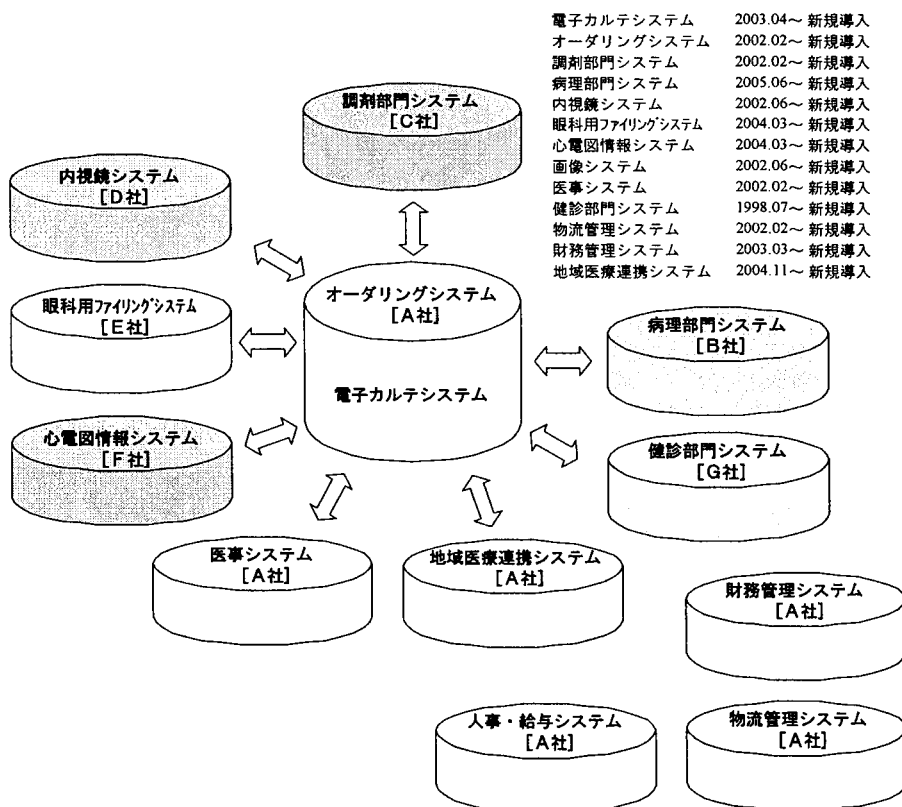
誤読文字・文章の回避、実施入力によるチェック体制の確立をなすことができた。ただし、電子カルテシステムならではのリスクとして、同姓同名の患者の場合の誤入力の可能性がみられるとの意見もあった。

### (3) D病院

特 徴：急性期病院  
 病床規模：500～599床  
 医業収入：年間90～100億円  
 承認状況：臨床研修病院・開放型病院・特定承認保険医療機関  
 緩和ケア病棟を有する病院

#### ① システム・機器の構成

電子カルテシステム+オーダーリングシステムを中心に、調剤部門システム、病理部門システム、画像診断部門システム（内視鏡・眼科用・心電図）、物流管理システム、医事システム、健診部門システム、財務システム、人事・給与システム、地域医療連携システムといった各部門システムと連動。なお、電子カルテ+オーダーリング、医事システム、物流管理システム、財務管理システム、人事給与システム、地域医療連携システムが同じベンダーで、その他の部門システムがそれぞれ異なるベンダーである（マルチベンダー型）。



また、機器の構成としては、デスクトップ350台、ノートパソコン50台、PDA70台が整備されている。

## ② 電子カルテシステム導入の目的

1. 情報共有
2. 診療の質の向上
3. データ活用

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) ベンダーへの支払い

電子カルテ・オーダーリング ・医事（診療画像等含む）	1,303,730,652 円	[購入]
健診部門システム	8,800,000 円	[購入]
財務管理システム	10,535,160 円	[リース]
人事・給与システム	9,900,000 円	[リース]
地域医療連携システム	82,864,530 円	[購入]
計	1,415,820,342 円	

【参考 1】1床当り約 270～280 万円

【参考 2】単年度医業収入の約 15%

※D病院のシステム導入の特徴は、導入後のカスタマイズが相当程度発生することである。

※【参考 1】1床当たり費用については、コスト総額を病床数で除したものである。

※【参考 2】単年度医業収入に対する比率については、実際には複数年に及ぶ支払費用を試みに単年度医業収入比でみたものであり、実際に単年度で支出している金額の対医業収入比率とは異なることに留意。

## 2) 院内マンパワーの投入

### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

#### 【システム専管部署】

管理者 1 名、職員 3 名、派遣 1 名の計 5 名により構成

※主要ベンダーのシステムエンジニア 20 名が常駐している。

#### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

システム専管部署 5 名、医師 6 名、看護師 5 名、薬剤師 1 名、技師 4 名（臨床検査、放射線、内視鏡、臨床工学から各 1 名）、医事職員 1 名、ベンダー 5 名一の計 27 名により構成される。

なお、月 2 回（年 24 回）の定例会議を開催しているが、1 回当たりの開催時間は 30 分程度と比較的短い。

※関連するワーキンググループは随時開催している。

### ○レセプト電算処理システムの導入に係る投入

レセプト電算処理システム導入にあたっては、テストデータの作成、エラー発生時の審査支払機関との折衝などの業務が予想以上に発生し、ベンダーはもちろん、医事課職員も 3～4 カ月間の準備作業を行った。

#### ④ システム導入の効果

##### 1) 削減可能コスト

電子カルテシステム及びオーダーリングシステムの導入により、用紙費用・搬送費用の削減が可能になった。また、画像診断部門システムの導入により、(内視鏡)フィルム費用・X線フィルム費用・用紙(記録紙・台紙)費用・搬送費用が削減された。

レセプト電算処理による削減可能コストとしては、本紙印刷コスト、提出輸送費、編綴作業時間の削減が挙げられる。

##### 2) その他の効果

###### ○情報の共有化・安全性の向上

電子カルテシステムの導入により、文字の判読が容易になるとともに、記載内容が充実してきている。また、情報を得ることが容易になった。ただし、記入に要する時間が増えてしまったという一面もある。

###### ○情報の所在管理

画像診断部門システムの導入により、フィルムの紛失等の事態の解消が可能。

###### ○業務の効率化

レセプト電算処理システムの導入により、医事課での入力・仕分け業務が削減され、残業時間も減少した。

###### ○人員の配置転換

電子カルテシステムの導入により、病歴室スタッフの一部を地域医療連携センターでの新規業務(電話予約サービス)に配置転換することができた。

###### ○データの活用

DPC 試行に伴い、診断群分類に紐付けされたデータの抽出が、医事システムより容易に取り出せるようになった。



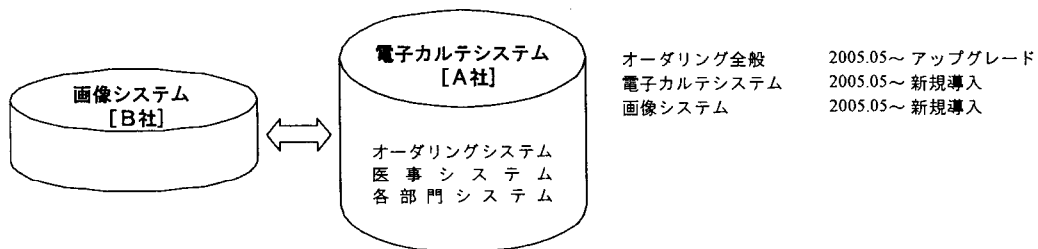
#### (4) E 病院

特 徴：急性期病院  
病床規模：900～999 床  
医業収入：年間 170～180 億円  
承認状況：特定機能病院・臨床研修病院・開放型病院

##### ① システム・機器の構成

システムの電子カルテシステム+オーダーリングシステムを中心に、医事システム（レセプト電算処理システムを含まれない）、看護支援システム、手術部門システム、リハビリ部門システム、栄養部門システム、放射線部門システム、画像診断部門システム、調剤部門システム、検査システムなどの各部門システムと連動。

なお、画像システム以外のシステムは全て同じベンダー（システム統合型）である。



また、機器の構成としては、院内にデスクトップ・ノートパソコン（無線）が計 850 台整備されている。ノートパソコン（無線）は各病棟に 7 台ずつ配置され、病棟の看護師等は特注キャスターに乗せて運搬している。

## ② 電子カルテシステム導入の目的

1. 医療の安全対策
2. 病院マネージメントの基盤作り
3. 診療支援とチーム医療の充実を図るため

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) ベンダーへの支払い

電子カルテシステム等	1,397,340,000 円	[5年リース]
同上    (システム移行費)	16,216,000 円	[単年度]
DPC コーディング委託費	14,800,000 円	[単年度]
画像システム	477,540,000 円	[5年リース]
計	1,905,896,000 円	
年間運用委託費	81,144,000 円	

【参考1】1床当たり約230～240万円

【参考2】単年度医業収入の約13%

※保守料はリース料に含まれている。

※年間運用委託費にはシステム運用費用の他、消耗品費も含まれている。

※【参考1】1床当たり費用については、コスト総額を病床数で除したものである。

※【参考2】単年度医業収入に対する比率については、実際には複数年に及ぶ支払費用を試みに単年度医業収入比でみたものであり、実際に単年度で支出している金額の対医業収入比率とは異なることに留意。

## 2) 院内マンパワーの投入

### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

#### 【システム専管部署】

事務職員4名により構成

※薬剤部、放射線部、検査部の職員も0.1人程度ずつは携わっている。また、医師も0.3人程度関与している。

※主要ベンダーのシステムエンジニア5～6名が常駐している[9時～17時までの対応]。ちなみに、主要ベンダーの関連会社へ医事業務を委託もしている。

※障害が発生したときに、現場から専管部署を経由してベンダーへ伝達するという連絡ルートの徹底が課題である。

#### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

システム専管部署1名、医師9名、看護師1名、薬剤師1名、技師2名(検査、放射線から各1名)の計14名により構成される。

なお、年1回の不定期な会議を開催したところである。

※電子診療録推進ワーキンググループを年内に開始する予定。今後は年3回程度のペースで開催していく予定である。

## ○レセプト電算処理システムの標準マスターの整備

10,000 千円程度のコストが必要である（システムエンジニア 10 人月分）。

## ④ システム導入の効果

### 1) 削減可能コスト

画像システムの導入により、フィルムの保管スペースの削減が可能になった。

ただし、電子カルテシステムの導入の影響か、実際には紙の使用が増えた。また安全管理や、ワークシート・食札印刷のための消耗品費が以前のシステムより増えた（年間約 1,500 万円増と推定）。レセプト電算処理システムの導入により、レセプトのコピー2部出力分の用紙の費用（年間 1,000 千円程度）の削減が可能になることが想定されるが、システム導入費用との費用対効果を検討する必要がある。

### 2) その他の効果

#### ○経営分析力の向上

データウェアハウスの構築により、従来のシステムと比較して各種経営データの作成や収支分析が容易になった。

#### ○安全性の向上

職員カード、患者のリストバンド及び各ラベル等を活用してオーダー照合と実施入力によって、安全性が向上された。

#### ○在庫の適正化

在庫管理品目について、実施入力に基づく在庫数量の把握が可能になった。

#### ○情報の所在管理

画像システムの導入により、フィルムの所在管理が不要になる。

#### ○業務の効率化

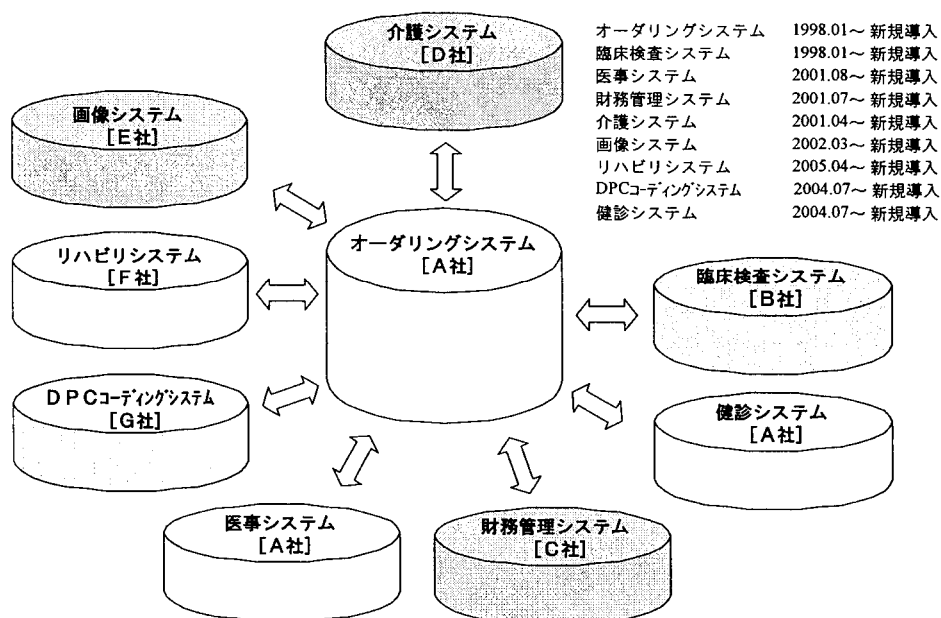
病床利用率・空病床率の把握が可能となり、今後の稼働率向上に寄与できる。

## (5) F 病院

特 徴：急性期病院  
 病床規模：300～399 床  
 医業収入：年間 60～70 億円  
 承認状況：臨床研修病院・緩和ケア病棟を有する病院

### ① システム・機器の構成

F 病院では、電子カルテシステムを看護業務システム・手術業務システムと併せて来年度に導入することを計画しているところであり、その他のオーダーリングシステムは全て稼動中である。電子カルテシステムについては、現在各ベンダーの製品・サービスについて比較検討中である。



また、機器の構成としては、導入当初の状況としてサーバ 8 台、クライアント 165 台が整備されている。

## ② オーダリングシステム導入の目的

1. 患者サービスの向上（診療待ち時間短縮、インフォームドコンセント）
2. 複数科を受診する患者への重複投薬・検査の防止
3. 院内業務効率化（指示伝達方法の簡略化）

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) 院内マンパワーの投入

#### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

##### 【システム専管部署】

医事課職員 3 名（医事課長・電算室主任・他 1 名）が兼務することにより構成

※医事課内に新たに電算室を設置してコンピューター全般を管理することとし、医事課・企画課から職員を 3 名選出した。

##### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

システム専管部署 3 名、医師 6 名、看護師 3 名、薬剤師 1 名、技師 4 名（検査、放射線、リハビリ、栄養から各 1 名）、その他職員 3 名—の計 20 名により構成される。開催頻度は、不定期であり、必要に応じて開催している。システムの導入準備時期の開催は頻繁となり、現在電子カルテシステムの導入検討を行っているため、1 カ月に 1 回、1 時間程度開催している。

#### ○レセプト電算処理システムの標準マスターの整備

医事システムの導入時に、標準傷病名マスターと互換性をとるため、1 年間分のデータに基づき変換テーブルを作成した。この作業に、35 万円×3 人月分程度の費用を要した。

#### ○レセプト請求時の電子・紙の二重管理

諸事情によって申請保留となったレセプトデータは、翌月以降に紙で提出する必要がある。よって、結果的に紙で総括表を作らざるを得なくなり、電子媒体での管理と紙での管理の 2 重の手間となっている。

#### ○DPCへの対応

DPC 導入にあたっては、診療情報管理士等を新たに雇用せずに医事課職員が担当したが、入院担当を 2 名増員した。

また、職員の教育費用としては、医事課長が 1 カ月間かけて医師 1 人当たり 2 時間程度マンツーマンで研修を行った。その他の職員に対しては全体説明を 2 回（1 回あたり 1 時間～1 時間半程度）行った。

#### ④ システム導入の効果

##### 1) 削減可能コスト

臨床検査システムの導入により、検査伝票等の重複がなくなり、また紙によるチェック作業も減ったため、コスト削減につながった。

医事システムとオーダーリングシステムとの連動により入力作業が軽減されるとともに、日報・月報・請求書等の発行の自動化が可能になり、人件費（残業手当）等の削減につながった。

##### 2) その他の効果

###### ○業務の軽減

臨床検査システムの導入により採血用スピッツの自動作成が可能となったため、看護師の病棟及び外来の業務軽減が図れた。その分、検診センター業務にスタッフが従事できるようになった。

###### ○業務の効率化・統一化

オーダーリングシステムの導入により、適切な業務分担が可能になり、効率の良い診療が行えるようになった。以前であれば、内科に200～220人の患者が受診すると回らなくなってしまうていたが、現在では320～330人程度の患者が受診しても、なんとか業務が回るようになり、患者数の増加に寄与している。

システム導入前は、各科によって運用方法がばらばらであったため、同じ事務手続きを行うにも、「その人がいないと分からない」という状況がよく見られたが、システム導入によって統一化できたので、各部門との効率のよい運用が図れるようになり、人員の配置転換が容易になった。

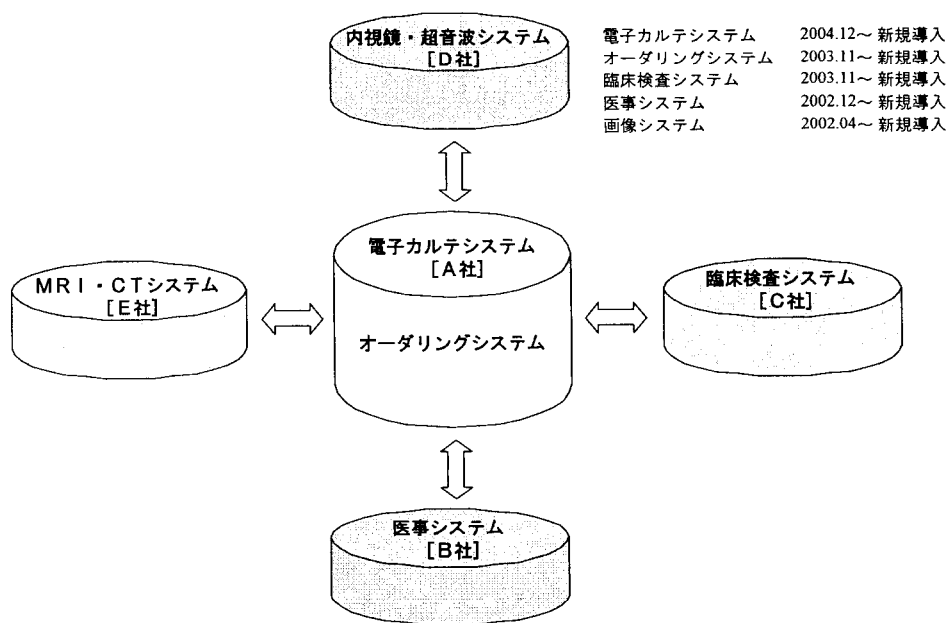
(6) G病院 [併設一般診療所と院内システムを共有]

特 徴：急性期病院
※数年前に外来機能を分離し、一般診療所として併設
病床規模：100～199床
医業収入：年間40～50億円
承認状況：臨床研修病院

① システム・機器の構成

システムの電子カルテシステム+オーダーリングシステム [処方オーダー、検体検査オーダー、画像生理オーダー、注射オーダー、汎用オーダー、予約オーダー、病名オーダー、手術オーダー、リハビリオーダー、食事オーダー、クリニカルパス、検体検査結果照会、画像生理オーダー結果照会、各種文書作成オーダー等] + 医事システムを中心に、臨床検査システム、画像システムと連動。

なお、電子カルテ+オーダーリング、医事システム、臨床検査システム、画像システムはそれぞれ異なるベンダーである (マルチベンダー型)。



また、機器の構成としては、院内にデスクトップ・ノートパソコンが計190台整備されている。各病棟ごとにデスクトップ5台、ノートパソコン3台ずつが配置されている。

## ② システム導入の目的

1. 病院一併設診療所の2施設間で個々の患者情報を一元的に管理できること
2. 2施設間で検査機器を有効に共同利用できること
3. 2施設間で請求事務を効率よく行えること

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) ベンダーへの支払い

初期投資 440,000,000円 [6年リース]

年間保守料 5,574,000円

【参考1】1床当たり約300万円

【参考2】単年度医業収入の約11%

※【参考1】1床当たり費用については、コスト総額（初期投資額＋年間保守料×6年間）を病床数で除したものである。

※【参考2】単年度医業収入に対する比率については、実際には複数年に及ぶ支払費用を試みに単年度医業収入比でみたものであり、実際に単年度で支出している金額の対医業収入比率とは異なることに留意。

### 2) 院内マンパワーの投入

#### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

##### 【システム専管部署】

職員4名（内1名はプログラマーである）により構成

##### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

システム専管部署3名、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、技師4名、医事職員2名、その他職員1名の計14名により構成される。

システム導入後は、稼動が安定していることもあり、不定期に年1回ほど開催している。ただし、システム導入前の準備期間においては、毎月1回実施し、オーダーごと（合計10種類）に設置された部会も週1～2回の頻度で開催していた。なお、準備期間は、オーダーリングシステム導入時で1年間、電子カルテシステム導入時で8カ月を要した。システム導入の際は、職員約100人を動員したシミュレーションを3回実施し、本番を迎えた。

現在は、部会として、クリニカルパス委員会を年12回、看護支援システムや一般撮影システムの導入を想定したシステム拡張のための導入検討会を年6回程度開催している。

#### ○レセプト電算処理システムの標準マスターの整備

標準マスターの整備のための職員の負荷が大きい。



#### ④ システム導入の効果

##### 1) 削減可能コスト

外来分離によって発生すると予想されたメッセージャーを配置することなく稼動することができた。職員全体の診療効率が上がったといえる。

レセプト電算処理システムの導入により、専用レセプト用紙、郵送費が節減された。

##### 2) その他の効果

###### ○業務の効率化

職員がどの端末からも情報が見られるようになったことで、業務の効率が向上した。

また、外来は完全予約制の導入により診療効率が上がった。

###### ○安全性の向上

文字の読み違いが減少し、特に薬品によるインシデントが減少した。

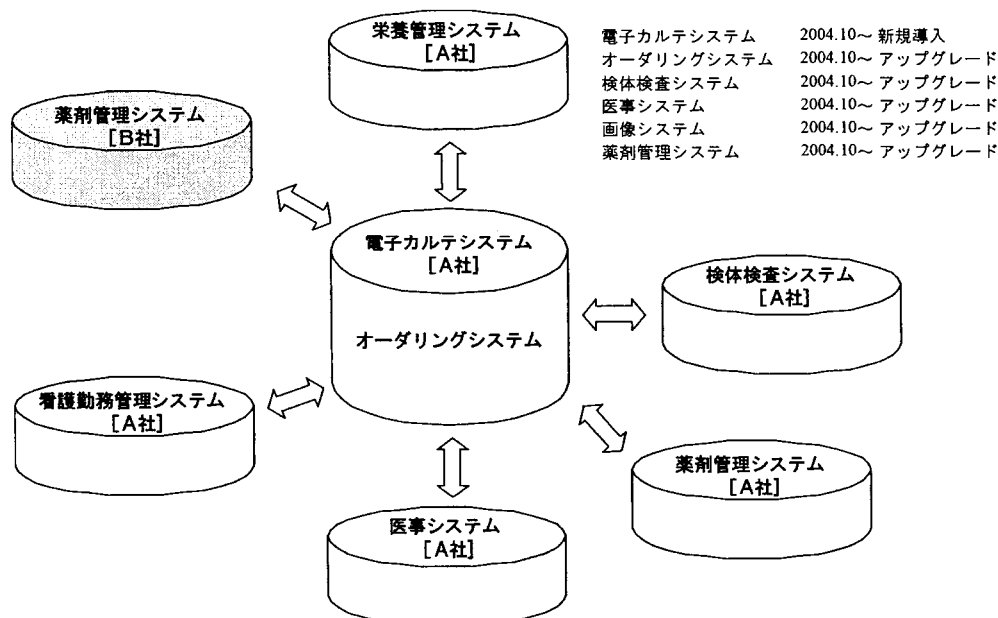
## (7) H病院

特 徴：急性期病院  
 病床規模：200～299 床  
 医業収入：年間 40～50 億円  
 承認状況：地域医療支援病院・臨床研修病院・開放型病院

### ① システム・機器の構成

電子カルテシステム、オーダーリングシステムを中心に、医事システム（レセプト電算処理システムを含む）、看護勤務管理システム、検体検査システム、栄養管理システム、薬剤管理システムと連動。

なお、薬剤管理システム以外のシステムは全て同じベンダー（システム統合型）で、主要ベンダーが薬剤管理システムとの調整を行うような形での契約を結んでいる。



また、機器の構成としては、院内にデスクトップ・ノートパソコンが計 297 台整備されている。

## ② 電子カルテシステム導入の目的

情報の共有化

## ③ システム導入・運用に係る各種コスト

### 1) ベンダーへの支払い

初期投資 417,430,000 円 [5年リース]

年間保守料 19,290,880 円

【参考1】1床当たり費用 約156万円

【参考2】対単年度医業収入 約11%

※初期投資額については、ベンダーの継続/旧システムのバージョンアップであるため、比較的割安である。

※年間保守料には、ハードウェアメンテナンスサービス、プログラムプロダクトサポートサービス、アプリケーションソフトウェアサービス、運用支援サービス、診療報酬改定サービスを含む契約に基づく。なお、カバーする範囲は、電子カルテ+オーダーリング、医事会計システム、各部門システム、ネットワーク機器とソフトメンテ、プリンター及びサーバーハード関連である。なお、医事会計システムには出来高算定部分の診療報酬点数改定作業費が含まれるが、DPC改定は含まれない。

※【参考1】1床当たり費用については、コスト総額；(初期投資額+年間保守料×5年間)を病床数で除したものである。

※【参考2】単年度医業収入に対する比率については、実際には複数年に及ぶ支払費用を試みに単年度医業収入比でみたものであり、実際に単年度で支出している金額の対医業収入比率とは異なることに留意。

### 2) 院内マンパワーの投入

#### ○院内のシステム導入・運用に関する体制

##### 【システム専管部署】

職員3名（看護師1名・検査技師1名・医事職員1名）により構成

##### 【システム運用等に係る院内検討委員会・ワーキンググループ】

システム専管部署3名、医師4名、看護師10名、薬剤師2名、技師3名（係長クラス）、医事職員2名（係長クラス、入院係・外来係）、法人本部職員1名一の計25名により構成される。

なお、不定期ではあるが、年12回の会議を開催している。

※ワーキンググループとして、看護部システム委員会を年12回開催

## ODPCへの対応

DPC 導入・運用にあたり、下記のようなコストが発生している。

	人 件 費	その他経費
コーディング	160 万円/月	医事会計用 DPC システム導入費用 720 万円
レセプト作成	290 万円/月	7 月 DPC 医事システム改定費用 156 万円
教 育	診療部 (46 人×2 回×1 時間= 92 時間) 管理部 (76 人×2 回×45 分= 114 時間) 技術部 (59 人×2 回×45 分= 88.5 時間) 看護部 (198 人×2 回×45 分= 297 時間) ※診療部 研修医 3 人、10 年未満 21 人、 10 年以上 5 人、医長 8 人、 部長以上 9 人	

### ④ システム導入の効果

#### 1) 削減可能コスト

電子カルテシステムの導入により、診療録の搬送に係る労力が削減される。計画的に紙診療記録の搬送を廃止する予定。

レセプト電算処理システムの導入により、レセプト集計作業の負荷が軽減される。

#### 2) その他の効果

##### ○安全性の向上

見読性を確保することによって、文字の読み間違いなどが減少する。

##### ○在庫の適正化

クリニカルパスの運用促進により、使用材料の適正化効果を期待している。

物品管理について SPD を導入し (2005.10～)、SPD 業者のシステム運用により従来より在庫管理の適正化が図られている。

##### ○稼働率の向上

統計情報の公開が Web のイントラネットで可能になり稼働率、平均在院日数を職員が参照できるようになったため、運用において稼働率向上に寄与している。

医療のIT化に係るコスト調査 ヒアリングシート案

第1 基本情報

病院名																					
所在地	〒													TEL							
	都・道 府・県			市・郡					町・村												
病床の状況 [H17.10.1]	病床種類					許可病床					稼動病床										
	1	一般病床										床									
	2	療養病床										床									
		[再掲] 指定介護療養型医療施設										床									
	3	精神病床										床									
		[再掲] 指定介護療養型医療施設										床									
	4	結核病床										床									
5	感染症病床										床										
入院患者の状況						H13.9			H14.9			H15.9			H16.9			H17.9			
	1	在院患者延数 [9.1~30]																			
	2	月末在院患者数 [9.30]																			
	3	新入院患者数 [9.1~30]																			
	4	退院患者数 [9.1~30]																			
5	月末稼動病床数 [9.30]																				
外来患者の状況						H13.9			H14.9			H15.9			H16.9			H17.9			
	1	初診患者数 [9.1~30]																			
2	再診患者延数 [9.1~30]																				
職員の状況						H13.9			H14.9			H15.9			H16.9			H17.9			
	1	医師・歯科医師																			
	2	看護職員																			
	3	薬剤師																			
	4	医療技術員																			
	5	事務職員																			
承認等の状況	01 地域医療支援病院					05 特定承認保険医療機関															
	02 特定機能病院					06 老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院															
	03 臨床研修病院					07 緩和ケア病棟を有する病院															
	04 開放型病院																				
点数の算定状況	01 薬剤管理指導料					05 亜急性期入院医療管理料															
	02 在宅患者訪問薬剤管理指導料					06 回復期リハビリテーション病棟入院料															
	03 無菌製剤処理加算					07 特定集中治療室管理料															
	04 急性期入院加算/急性期特定入院加算					08 ハイケアユニット入院医療管理料															

## 第2 収支情報 [年額]

科 目		金 額 (円)				
		H13	H14	H15	H16	H17
医業収入	① 入院収入					
	② 特別の療養環境収入					
	③ 外来収入					
	④ その他の医業収入					
	医業収入合計					
医業費用	① 材 料 費	医薬品費	保険医薬品費			
			保険外医薬品費			
	診療材料費	診療材料費	保険診療材料費			
			保険外診療材料費			
	医療消耗器具備品費					
	給食用材料費					
	② 給 与 費	医師・歯科医師				
		看護職員				
		薬剤師				
		医療技術員				
		事務員				
	③ 委託費	技能労務員・労務員				
		検査委託費				
		医事委託費				
		保守委託費				
	④ 設備関係費	その他委託費				
		減価償却費	建物			
			建物付属設備			
			医療機器			
			情報システム			
		その他				
	設備器械賃借料					
	土地・建物賃借料					
⑤ 経 費	経費					
	(再掲)保守料					
⑥ その他の医業費用						
医業費用合計						

## 第3 資産情報

科 目		金 額 (円)				
		H13	H14	H15	H16	H17
流動資産	① 医 薬 品					
	② 診 療 材 料					
	③ 給 食 用 材 料					
	④ 貯蔵品	医療消耗器具備品				
その他消耗品						
固定資産	① 医療用器械備品					
	② その他器械備品					
	③ ソフトウェア					

第4 ITシステム・機器 概況情報

システム 各部 門の 導入 状況	電子カルテシステム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 予定なし
	オーダーリングシステム	01 稼動中	02 開発中	03 計画中	04 予定なし
	医事業務システム	01 稼動中	} 01 患者登録 02 診療予約 03 料金計算	04 レポート印刷	07 病名登録
		02 開発中		05 レポート電算処理システム	08 医事統計
		03 計画中		06 診療費債権管理	09 その他( )
		04 予定なし			
	食事業務システム	01 稼動中	} 01 食事オーダー 02 食数管理 03 材料管理	04 栄養管理	
		02 開発中		05 食事統計	
		03 計画中		06 その他( )	
		04 予定なし			
	薬剤業務システム	01 稼動中	} 01 入院処方オーダー 02 外来処方オーダー 03 薬品在庫管理	04 医薬品情報	07 その他( )
		02 開発中		05 薬剤統計	
		03 計画中		06 薬歴管理	
04 予定なし					
臨床検査系システム	01 稼動中	} 01 検査受付 02 入院検査オーダー 03 外来検査オーダー	04 報告書作成	07 その他( )	
	02 開発中		05 精度管理		
	03 計画中		06 検査統計		
	04 予定なし				
材料部業務システム	01 稼動中	} 01 在庫管理 02 その他( )			
	02 開発中				
	03 計画中				
	04 予定なし				
放射線業務システム	01 稼動中	} 01 撮影・治療計画 02 放射線撮影予約 03 フィルム管理	04 放射性物質管理	07 放射線診断レポート作成	
	02 開発中		05 放射線統計	08 その他( )	
	03 計画中		06 医用画像診断システム		
	04 予定なし				
手術業務システム	01 稼動中	} 01 手術管理計画 02 在庫管理 03 物品管理	04 手術統計		
	02 開発中		05 その他( )		
	03 計画中				
	04 予定なし				
看護業務システム	01 稼動中	} 01 看護師勤務計画 02 看護師勤務統計 03 入院患者統計	04 その他( )		
	02 開発中				
	03 計画中				
	04 予定なし				
病歴業務システム	01 稼動中	} 01 病歴情報管理 02 診療録管理 03 その他( )			
	02 開発中				
	03 計画中				
	04 予定なし				
診療・研究・教育業務システム	01 稼動中	} 01 心電図解析 02 モニタリング 03 文献情報	04 生体情報		
	02 開発中		05 その他( )		
	03 計画中				
	04 予定なし				
その他のシステム	01 稼動中	} 01 人事管理 02 物品管理 03 給与管理	04 その他( )		
	02 開発中				
	03 計画中				
	04 予定なし				

## 第5 院内のシステム導入・運用に関する検討体制

院 内 の 運 用 ・ 検 討 体 制	システム専管部署の有無																													
	1 有          2 無 【1 有の場合】 [部署所属職員数]																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">職 種 等</th> <th style="width: 20%;">人 数 (常勤換算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td></td></tr> <tr><td>看護師</td><td></td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td></td></tr> <tr><td>技師 (種別名 )</td><td></td></tr> <tr><td>医事職員</td><td></td></tr> <tr><td>医事委託業者社員</td><td></td></tr> <tr><td>システムベンダー</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> </tbody> </table>	職 種 等	人 数 (常勤換算)	医師		看護師		薬剤師		技師 (種別名 )		医事職員		医事委託業者社員		システムベンダー		その他												
	職 種 等	人 数 (常勤換算)																												
	医師																													
	看護師																													
	薬剤師																													
	技師 (種別名 )																													
	医事職員																													
	医事委託業者社員																													
システムベンダー																														
その他																														
システム運用等に係る院内検討委員会等の有無																														
1 有          2 無 【1 有の場合】 [委員会の構成人員]																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">職種等</th> <th style="width: 20%;">人数</th> <th style="width: 45%;">役割 (委員長又は副委員長を記)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>システム専管部署</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>医師</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>看護師</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>技師 (種別名 )</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>医事職員</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>医事委託業者社員</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>システムベンダー</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	職種等	人数	役割 (委員長又は副委員長を記)	システム専管部署			医師			看護師			薬剤師			技師 (種別名 )			医事職員			医事委託業者社員			システムベンダー			その他		
職種等	人数	役割 (委員長又は副委員長を記)																												
システム専管部署																														
医師																														
看護師																														
薬剤師																														
技師 (種別名 )																														
医事職員																														
医事委託業者社員																														
システムベンダー																														
その他																														
[全体委員会の開催状況] 1 定例会議を開催          (年 回) 2 不定期に会議を開催      (年 回)																														
[分科会・WG等の開催状況] 1 中核となる委員の会議を開催      (年 回) 2 WG 会議を開催 (WG 名                      /年 回) (WG 名                      /年 回)																														



第6 ITシステム・機器 個別情報 (1) ~ (n)

システム種類	1 電子カルテ                      2 オーダリング系                      3 臨床検査系                      4 画像処理系 5 物流管理系                      6 医療事務系                      7 その他 (                                      )						
システム製品名	製品名						
	製造元						
契約形態	1 ハード&ソフト一括      2 分割 (具体的に                                      )						
	1 購入						
	2 リース ⇒	契約開始日      年      月      日					
3 レンタル ⇒	契約終了日      年      月      日						
契約内容	[サポート体制 (保守点検・修繕) について]						
システム構成							
導入時期		導入方法					
導入目的							
導入前の状況	前契約について	製品名					
		製造元					
		契約形態		1 ハード&ソフト一括      2 分割 (具体的に                                      )			
	1 購入						
	2 リース ⇒	契約開始日      年      月      日					
3 レンタル ⇒	契約終了日      年      月      日						
導入の経緯 ※ベンダー別 契約開始年	ベンダー						
	契約開始年		年	年	年	年	年
導入費用	初期投資						
	調達方法						
	維持費用 ※導入当初からの 維持費用の 推移	人件費					
		委託費					
その他費用							

院内体制の 変更	[新規雇用・配置転換・人員削減]  [組織の見直し]	
導入効果	コスト	[削減（可能）コスト]
	その他	[安全性の向上]  [在庫の適正化]  [稼働率の向上]
システム 導入の評価	[購入価格について]  [機能／仕様について]  [サポート体制について]  [その他]	

## 第7 診療報酬請求のための入力項目とシステム化の状況

レセプト 電算への 対応状況	[レセ電マスターの整備状況]  [マスター整備のための経費（既完了分/将来発生分）]  [レセ電導入による経費節減効果]
----------------------	--------------------------------------------------------------------------

項目	関連システム名称	入院			入院外			特記事項など
		0	1	2	0	1	2	
患者ID情報	医事会計システム	0	1	2	0	1	2	
傷病名	病名オーダー	0	1	2	0	1	2	
診療開始日・転帰・診療実日数		0	1	2	0	1	2	
医師2号用紙部分	電子カルテ	0	1	2	0	1	2	
退院サマリ	退院サマリ	0	1	2	0	1	2	
DPC分類情報	DPCコーディング	0	1	2	0	1	2	
DPC調査様式1（診療情報）	DPCコーディング	0	1	2	0	1	2	
初診	診療予約オーダー/部門予約入力	0	1	2	0	1	2	
再診	診療オーダー/電子カルテ	0	1	2	0	1	2	
指導	診療オーダー/電子カルテ	0	1	2	0	1	2	
在宅		0	1	2	0	1	2	
薬剤	処方オーダー	0	1	2	0	1	2	
材料	実施記録/SPD	0	1	2	0	1	2	
投薬	オーダー/薬剤システム	0	1	2	0	1	2	
薬剤		0	1	2	0	1	2	
注射	オーダー/薬剤システム	0	1	2	0	1	2	
薬剤		0	1	2	0	1	2	
抗癌剤	抗癌剤オーダー	0	1	2	0	1	2	
麻薬等	麻薬オーダー	0	1	2	0	1	2	
治験薬	治験管理システム	0	1	2	0	1	2	
材料	実施記録/SPD	0	1	2	0	1	2	
処置	処置オーダー/処置実施入力	0	1	2	0	1	2	
薬剤	オーダー/薬剤システム	0	1	2	0	1	2	
材料	実施記録/SPD	0	1	2	0	1	2	
手術麻酔	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
薬剤	オーダー/薬剤システム	0	1	2	0	1	2	
材料	実施記録/SPD	0	1	2	0	1	2	
検査		0	1	2	0	1	2	
臨床検査	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
外注検査	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
生理検査	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
心電図	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
脳波	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
超音波	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
内視鏡	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
病理	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
画像診断	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
薬剤	オーダー/薬剤システム	0	1	2	0	1	2	
材料	実施記録/SPD	0	1	2	0	1	2	
その他		0	1	2	0	1	2	
放射線治療	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
リハビリテーション	オーダー/部門システム	0	1	2	0	1	2	
その他		0	1	2	0	1	2	
入院	入院オーダー/病床管理システム	0	1	2	0	1	2	
食事	栄養管理システム	0	1	2	0	1	2	

※ 0・・・医事会計システムに手入力 1・・・オーダーエントリーシステムからデータ取得 2・・・実施記録、物品管理・SPDシステムからデータ取得

## 第 8 D P C 対応の状況

		人件費	その他経費
DPC 導入 に 要 した コ ス ト 等	コーディング	万円	万円
	レセプト作成	万円	万円
	教 育	万円	万円
DPC データ の 作 成 フ ロ ー チャート			
DPC 導入に よるコスト 削 減 効 果			

## 平成17年度 医療安全に関するコスト調査

### － 中間報告（案）－

#### 1. 調査の概要

##### （1）調査の目的

医療安全に係る診療報酬として、入院基本料に対する1)入院診療計画未実施減算、2)院内感染防止対策未実施減算、3)医療安全管理体制未整備減算—など、既に施設基準が定められ、点数化されているものがある。

一方、医療安全の向上のために1)安全に関する管理体制の充実、2)医薬品の安全確保、3)医療機器の安全確保、4)医療安全における情報技術（IT）の活用、5)医療従事者の資質向上—といった項目への取り組みの強化が求められており、本調査は、医療安全に関するコストの実態を把握し、診療報酬体系における評価の在り方について検討するための資料を作成するとともに、今後の医療安全への取り組み方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

平成17年度においては、医療安全に関して先進的な取り組みを行っている医療機関等を対象に、医療安全を保証・改善させるための活動状況等を明らかにすることを目的とする。さらに、平成17年度調査の結果を踏まえ、医療安全に係るコスト範囲等を確定し、平成18年度にはより幅広い医療機関等を対象として、医療安全に関するコスト調査を実施するものとする。

##### （2）調査の対象

○ 病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局を調査対象とする。

○ 調査対象の選定に当たっては、病院のうち下掲の厚生労働科学研究の調査対象としていない規模の病院（300床未満を想定）を10施設程度、一般診療所等も各10施設程度を対象として書面調査を行い、その中から各5施設を選定してヒアリング調査を行う。

※300床以上の病院10施設程度については、厚生労働科学研究「医療における安全・質確保のための必要資源の研究」（主任研究者 今中雄一・京都大学教授）から調査結果を提供してもらう予定である。

##### （3）調査の実施体制

○ シンクタンクへの委託調査とし、当該シンクタンク内に今中雄一・京都大学教授を主任研究者とする検討委員会を設けて調査を行うこととする。

主 査：今中 雄一 京都大学大学院医学研究科／教授

委 員：（五十音順）

井上 章治 有限会社井上調剤薬局／代表取締役（日本薬剤師会）

猪口 雄二 医療法人財団寿康会病院／理事長・院長（全日本病院協会）

高津 茂樹 高津歯科医院／院長（日本歯科医師会）

土屋 文人 東京医科歯科大学歯学部附属病院／薬剤部長（日本病院薬剤師会）

松田 晋也 産業医科大学医学部公衆衛生学教室／教授

安田 正幸 安田クリニック／院長（日本医師会）

## 2. 調査の内容

本調査では、1) 安全管理、2) 感染制御、3) 医薬品安全使用—についての取り組み状況を把握し、取り組みに係る費用を分析する。また、医療安全対策の効果を計測するための指標（クリニカルインディケータ等）についても調査を行う。

本調査は、平成16年度（2004年度）における状況を対象としているが、在院患者数など一時点の状況については、平成16年6月30日現在の状況とした。

### (1) 病院・一般診療所・歯科診療所の書面調査項目

	調査項目	対象とする内容	対象（取組・機器）の例
項目0	基本情報	患者、職員、収支などの状況	病床数、患者数、処方回数、職員数、医業収支
項目1	安全管理に係る人員配置	安全管理室など、安全管理部門に所属する構成員または安全管理に関する担当者	ジェネラルリスクマネージャー、安全管理室長、リスクマネージャー、安全管理室員、安全管理推進室員
項目2	感染制御に係る人員配置	感染管理室など、感染制御部門に所属する構成員または感染制御に関する担当者	感染管理室長、感染管理室員、リンクナース
項目3	医療安全に係る委員会・会合	安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る内容を取り上げた委員会・会合	安全管理委員会、事故調査委員会、安全管理部門の定例会議、薬剤委員会、感染制御委員会、リンクナース会議
項目4	安全管理に係る機器・設備等	安全管理への貢献が期待できる器材、機器、設備等	リストバンド、看護支援携帯端末、警報装置、転落防止器具、衝撃吸収床材、職員ワッペン、オーダーエントリーシステム
項目5	感染制御に係る機器・設備等	感染を予防するための器材、機器、設備等	消毒・洗淨剤、ハンドローション、グローブ、マスク、ガウン、手洗い機器、抗菌カテーテル、針刺し防止用注射器、抗菌床材、陰圧隔離室
項目6	職業感染防止対策の取組	職業感染防止のための対策	各種ワクチン、抗体検査、ツベルクリン反応
項目7	内部レビュー・ラウンド等の取組	安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る内部レビュー・ラウンド、症例検討会に相当する取組事例	マニュアル遵守の内部レビュー、診療録レビュー、症例検討会、化学療法や輸血・血液療法に関する検討会、抗生剤使用に関する検討会
項目8	医療安全に係る院内研修	安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るテーマを取り扱った院内研修	感染管理基礎研修、事故事例研究会、

	調査項目	対象とする内容	対象（取組・機器）の例
項目 9	医療安全に係る 院外研修・活動	安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るテーマを取り扱った院外研修・活動	リスクマネジメント研修、 感染管理講習会
項目 10	インシデント レポート作成・ 分析	院内で作成・分析したインシデントレポートと、それに要したコンピュータ、ソフトウェアなど	インシデントレポート、アクシデントレポート、ヒヤリハットレポート
項目 11	院内感染サーベイ ランス等の 取組	院内で実施した院内感染サーベイランスと、それに要したコンピュータ、ソフトウェアなど	MRSA 関連、手術部位感染、術後創感染チェック、尿路留置カテーテル関連 尿路感染、中心静脈ライン関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎
項目 12	医療安全に係る マニュアル・手 順書	安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院内共通マニュアル・手順書	品質マニュアル、感染予防手順書、廃棄物適正処理マニュアル
項目 13	外部評価の受審 状況	新規で受審した、医療安全・感染制御・医薬品安全使用に関連する外部評価	ISO9001、医療機能評価機構
項目 14	医療機器等の管 理等の取組	臨床工学技士の活動状況（人数、活動内容の割合等）、医療機器の安全管理に係る活動や設備利用の状況	活動：院内巡回 設備：輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器等の解析装置、救急カート
項目 15	医薬品等の管理 等の取組	薬剤師の活動状況（人数、活動内容の割合）、医薬品・血液製剤の管理に係る活動や設備利用の状況	活動：特定生物由来製品または麻薬・劇薬等に係る保管・管理活動、レジメンチェック、抗生物質の使用状況調査と感染起因菌の分析 設備：分包機、クリーンルーム、クリーンベンチ、血液製剤の保冷库・冷凍庫・溶解用恒温槽
項目 16	賠償責任保険へ の加入状況	病院（診療所）、または従事者個人が被保険者となっている賠償責任保険	医療業務賠償責任保険、 医師賠償責任保険
項目 17	廃棄物処理・保 管に係る取組	感染性廃棄物および産業廃棄物の、処理・保管に係る取組状況	廃棄物保管に要するその他材料の例：ハザードマークシート、非感染性廃棄物ラベル
項目 18	安全管理に係る 確認作業等に要 する活動状況	①医療者間、医療者・患者間の確認作業 ②診療行為前の説明と同意を得る活動	①患者誤認防止、医薬品等の誤認防止、調剤の確認、手術部位誤認防止、アレルギー確認 ②手術、輸血・血液製剤投与、造影剤使用、心臓カテーテル、内視鏡手術

	調査項目	対象とする内容	対象（取組・機器）の例
項目 19	医療安全に係る機能連携	安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携（病病連携・病診連携・薬薬連携等）	当該患者について必要な診療情報を文書などにより相互に共有化する
項目 20	医療安全に係るその他の活動	現在実施している安全管理や感染制御、医薬品安全使用のための諸活動のうち、項目 1～19 の分類に該当しないもの	警備体制の強化、配管の点検、医療用ガスボンベの点検

## （２）保険薬局の書面調査項目

	調査項目	対象	対象（取組・機器）の例
項目 0	基本情報	処方、職員、収支などの状況	処方せん枚数、受付回数、職員数、営業収支
項目 1	安全管理に係る人員配置状況	管理薬剤師および安全管理に係る責任者、担当者	管理薬剤師、安全管理責任者、リスクマネージャー、安全管理担当者、安全管理推進者
項目 2	安全管理に係る会議などの開催状況	安全管理に係る内容を取り上げた会議・委員会・打ち合わせ	安全対策を検討、決定する安全管理会議、事故調査委員会、安全管理についての定例会議
項目 3	安全管理に係る研修の取組状況	2004 年度に職員が参加した、安全管理に係る全ての教育・研修	薬学大会、調剤薬局勉強会、保険薬局セミナー
項目 4	インシデントレポート取組状況	2004 年度のインシデントレポート	インシデントレポート、アクシデントレポート、ヒヤリハットレポート
項目 5	マニュアルなどの作成状況	調剤業務全般に関して作成した、マニュアル・手順書・申し合わせ事項	事故防止マニュアル、小児薬用量リスト
項目 6	調剤業務における安全対策の実施状況	①調剤後鑑査の実施状況 ②散・水剤に関し、調剤ミス防止のため実施している対策 ③調剤に関する事故防止用に導入した機器	②分包誤差の確認、秤量メモとの突合、小児薬用量チェック ③散・水剤、各種薬剤（錠剤、注射薬、外用薬等）の調剤ミス防止に資する I T 機器、患者の禁忌薬剤や過量処方などを確認する I T 機器、自動分包機
項目 7	医薬品等の安全管理の取組状況	①規制医薬品について、事故防止のための取組状況 ②受発注・納品時の取り間違い防止のための機器等	①安全管理が必要な薬剤のリスト化、区分保管、装置瓶や調剤棚への用法・用量記載、注意掲示



	調査項目	対象	対象（取組・機器）の例
項目 8	服薬に関する安全管理の取組状況	①機能連携（疑義紹介含む）の取組 ②事故防止に向けた患者対応 ③服薬管理が必要な薬剤（リウマトレックスなど）についての指導 ④在宅事故注射（インスリンなど）に係る安全対策	①医療機関への疑義照会 ②緊急時の薬剤師による電話対応 ③薬歴等を用いた管理指導 ④用法・用量等の服薬指導、保管管理
項目 9	副作用防止に関する取組状況	①安全性情報を収集・管理する体制 ②薬剤から患者を特定できる体制	①インターネット環境の整備 ②迅速な患者特定用の IT 機器
項目 10	感染制御および無菌製剤に係る取組状況	①感染防止対策への取組 ②クリーンベンチの整備状況 ③無菌製剤処理に係る物品	①使用済み注射針回収する旨の患者広報、感染性廃棄物の分別保管 ③ローブ、マスク、ゴーグル
項目 11	職業感染防止対策の取組状況	職業感染防止のための対策	各種ワクチン、抗体検査、ツベルクリン反応
項目 12	外部評価の受審状況	新規で受審または更新した、外部評価	ISO9001、BS7799 等による認定・監査
項目 13	賠償責任保険への加入状況	薬局、または従事者個人が被保険者となっている賠償責任保険	薬剤師賠償責任保険
項目 14	安全に係るその他の活動の取組状況	現在実施している安全管理や感染制御、医薬品安全使用のための諸活動のうち、項目 1～19 の分類に該当しないもの	警備体制の強化、医療用ガスボンベの点検

### (3) ヒアリング調査項目

ヒアリングにおける質問内容を以下に示す。

- (1) 大規模病院（300床以上）との比較
  - (1-1) 共通する医療安全に係る取組
  - (1-2) 特有の医療安全に係る取組
- (2) 医療安全に係る新しい取組
- (3) 医療安全に係る取組における課題
- (4) 費用負担が大きい取組
- (5) 医療安全に係る取組の年次変化（増減など）

### 3. 調査の中間報告

中間報告においては、以下の件数の書面・ヒアリング調査を実施した。

	病院 (300床未満)	一般診療所 有床	一般診療所 無床	歯科診療所	保険薬局
書面調査件数	2件	1件	1件	1件	2件
(うち) ヒアリング件数	1件	0件	0件	1件	2件

※ 書面調査施設に対して、ヒアリングを行った。

#### (1) コストの算出方法

調査結果は、主に人件費とその他諸経費とに分類して示している。人件費は、国家公務員による給与を基本に、賞与（月額換算）、退職給付金（月額換算）、法定福利費（事業主負担部分）を含めた時間給を算定することにより推計した。

#### (2) 調査結果

調査結果を以下に示す。

【注意】現時点では、医療の質・安全の原価の測定方法の開発段階にあり、項目それぞれの原価の把握に改善の余地が残され、データ収集も結果の検証も途中段階にあり、項目毎の合計値は妥当な総額にはならない。以上のことなどから、当中間報告の値は、今後の妥当な原価計算に向けての検討に資するための参考資料にとどめ、制度・政策の根拠とする段階にはないことを、しっかりと留意する必要がある。

#### <中間報告結果についての留意点>

- 本調査においては、委員会の取組、研修、レビュー・ラウンド等、2004年度中の取組量を把握し運用コストを中心に計算を実施したが、2004年度時点のマニュアル・手順書、2004年度までに取得した認定、2004年度に使用していた設備・機器など、初期費用を要する取組については初期費用の把握を行い、それらを現段階での集計結果に含めている。今後は、①初期費用、②初期費用以外の2004年度の費用一に分けて集計する予定である。
- 医療安全の確保にむけた各医療機関内の取組では、関連諸団体により開発された指針や自治体の実施する情報収集分析機能（インシデントレポート収集、分析等）が利用されていることがわかった。一方、本調査結果では、病院内で発生したコストのみを集計の対象とし、ガイドライン等の開発費、分析収集等医療機関外で発生したコストについては、対象としていない。

【病院 H-01 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

病床	許可病床	50～100 床	職員	医師	6～10 人
	療養病床割合	42%		歯科医師	0 人
患者	在院患者延べ数	約 2,200 人		薬剤師	3 人
	初診患者数	約 600 人		看護師	41～45 人
	再診患者延べ数	約 3,500 人		医療技術員	16～20 人
院外処方率		確認中		その他の職員	11～15 人
医業費用（1 年間）		約 11.9 億円			

【 H-01 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の 投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	約 1.9[人]	約 13,700	・	(注 4)
感染制御に係る人員配置	約 1.6[人]	約 11,800	・	(注 4)
医療安全の委員会・会合	約 1,100[人時]	約 4,000	・	
安全管理に係る機器・設備	・	・	約 300	初期費用を含む
感染制御に係る機器・設備	・	・	約 3,800	初期費用を含む
職業感染防止対策の取組	・	・	約 100	その他確認中のものあり
内部レビュー・ラウンド等	約 100[人時]	約 500	・	
医療安全に係る院内研修	約 600[人時]	約 1,700	—	
医療安全に係る院外研修・活動の取組	約 60[人時]	約 300	約 100	
インシデントレポート	約 200[人時]	約 1,800	約 100	
院内感染サーベイランス等	約 100[人時]	約 200	—	
マニュアル・手順書の作成	約 600[人時]	約 2,000	—	初期費用を含む
外部評価の受審	約 200[人時]	約 600	約 1,300	初期費用を含む
医療機器等の管理等	—[人]	—	—	その他確認中のものあり
医薬品等の管理等	約 0.6[人]	約 4,000	—	その他確認中のものあり
賠償責任保険への加入	・	・	約 1,000	
廃棄物処理・保管	・	・	約 7,600	
確認作業等に要する活動	確認中[人時]	確認中	確認中	
安全に係る機能連携	確認中[人時]	確認中	確認中	
その他の活動の取組	確認中[人時]	確認中	確認中	

(注1) 人員の投入量[人]は、常勤換算した人数 (FTE : Full Time Equivalent) であり、投入量[人時]は、1人1時間の投入を単位とした工数である。

(注2) 「その他」とは、初期費用を含む費用から人件費を除いた費用である。

(注3) 「人件費」及び「その他」の欄における“—”は、50[千円/年]未満であることを表す(0を含む)。

(注4) 人員配置のコストは、委員会・会合の取組、内部レビュー・ラウンド等の取組、医療安全に係る院内研修の取組など、人員投入があり得る項目のコストと重複する部分を含んだコストである。

(注5) 職員数(職種別)が5人未満である場合、実数を示している。

(脚注の内容に関しては、以下同様)

【病院 H-02 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

病床	許可病床	50～100 床	職員	医師	5～10 人
	療養病床割合	39%		歯科医師	0 人
患者	在院患者延べ数	約 2,500 人		薬剤師	2 人
	初診患者数	約 600 人		看護師	51～55 人
	再診患者延べ数	約 6,000 人		医療技術員	11～15 人
院外処方率		81%		その他の職員	11～15 人
医業費用（1 年間）		約 11.6 億円			

【 H-02 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の 投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	—[人]	—	・	p.8（注4）
感染制御に係る人員配置	—[人]	—	・	p.8（注4）
医療安全の委員会・会合	約 1,100[人時]	約 4,200	・	9つの月例委員会
安全管理に係る機器・設備	・	・	約 1,500	初期費用を含む 医療情報システム含まず
感染制御に係る機器・設備	・	・	約 400	初期費用を含む
職業感染防止対策の取組	・	・	約 100	その他確認中のものあり
内部レビュー・ラウンド等	約 200[人時]	約 700	・	
医療安全に係る院内研修	約 300[人時]	約 1,200	—	
医療安全に係る院外研修・ 活動の取組	約 100[人時]	約 400	約 2,200	書籍代を含む
インシデントレポート	—[人時]	約 100	—	データ入力部分のみ
院内感染サーベイランス等	—[人時]	—	—	
マニュアル・手順書の作成	確認中[人時]	確認中	確認中	
外部評価の受審	確認中[人時]	確認中	確認中	
医療機器等の管理等	—[人]	—	約 7,000	医療機器の保守契約料
医薬品等の管理等	—[人]	—	約 1,400	その他確認中のものあり
賠償責任保険への加入	・	・	約 1,000	
廃棄物処理・保管	・	・	確認中	
確認作業等に要する活動	約 100[人時]	約 700	—	同意書に係る説明
安全に係る機能連携	確認中[人時]	確認中	確認中	
その他の活動の取組	確認中[人時]	確認中	確認中	

【一般診療所（有床） C-01 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

病 床	許可病床	11～19 床	職 員	医師	1 人
	療養病床割合	95%		歯科医師	1 人
患 者	在院患者延べ数	約 600 人	薬剤師	0 人	
	初診患者数	約 30 人	看護師	6～10 人	
	再診患者延べ数	約 1,200 人	その他の職員	6～10 人	
院外処方率		0%			
医業費用（1 年間）		約 2.1 億円			
主たる診療科目		内科			

【 C-01 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の 投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全に係る人員配置	約 0.2[人]	約 100	・	p.8（注4）
安全に係る会合・検討・ 改善活動	約 100 [人時]	約 200	・	
安全管理に係る機器・設 備等の導入	・	・	約 200	初期費用を含む
感染制御に係る機器・設 備等の導入	・	・	約 700	初期費用を含む
職業感染防止対策	・	・	—	抗体検査のみ
医療安全に係る院外研 修・活動の取組	約 20 [人時]	約 100	—	
インシデントレポート 作成・分析等の取組	— [人時]	—	—	所要時間を確認中
医療安全に係るマニユ アル・手順書の作成	約 40 [人時]	約 200	—	初期費用を含む
外部評価の受審	— [人時]	—	—	
医療機器等の管理等	—[人]	—	—	
医薬品等の管理等	— [人]	—	—	
賠償責任保険への加入	・	・	—	医賠償に加入
廃棄物処理・保管	・	・	約 200	
確認作業等の活動	確認中[人時]	確認中	確認中	
安全に係る機能連携	確認中[人時]	確認中	確認中	
その他の活動の取組	—[人時]	—	約 200	設備の点検費用

【一般診療所（無床） C-11 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

患者	初診患者数	約 220 人	職員	医師	2 人
	再診患者延べ数	約 2,200 人		歯科医師	0 人
院外処方率		100%		薬剤師	0 人
医業費用（1 年間）		約 1.5 億円		看護師	6～10 人
主たる診療科目		内科		その他の職員	0 人

【C-11 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の 投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全に係る人員配置	約 0.9 [人]	約 500	・	p.8（注 4）
安全に係る会合・検討・改善活動	約 — [人時]	—	・	年 2 回程度
安全管理に係る機器・設備等の導入	・	・	—	その他確認中のものあり
感染制御に係る機器・設備等の導入	・	・	約 1,300	初期費用を含む その他確認中のものあり
職業感染防止対策	・	・	—	予防接種など
医療安全に係る院外研修・活動の取組	— [人時]	約 100	—	
インシデントレポート作成・分析等の取組	約 200 [人時]	約 700	—	
医療安全に係るマニュアル・手順書の作成	約 1,100 [人時]	約 3,900	—	初期費用を含む
外部評価の受審	約 1,600 [人時]	約 5,700	約 1,100	初期費用を含む
医療機器等の管理等	— [人]	—	—	
医薬品等の管理等	— [人]	—	—	
賠償責任保険への加入	・	・	約 100	
廃棄物処理・保管	・	・	約 300	
確認作業等の活動	確認中 [人時]	確認中	確認中	
安全に係る機能連携	確認中 [人時]	確認中	確認中	
その他の活動の取組	確認中 [人時]	確認中	確認中	

【歯科診療所 D-01 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

患者	初診患者数	1～5人	職員	歯科医師	1人
	再診患者延べ数	約100人		歯科衛生士	2人
院外処方率		0%		歯科技工士	0人
診療日数		21日		事務職員	1人
医業費用（1年間）		約0.2億円		その他の職員	1人

【D-01 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全に係る人員配置	確認中 [人]	確認中	・	p.8（注4）
安全に係る会合・検討・改善活動	約 600[人時]	約 1,800	・	毎日ミーティング
安全管理に係る機器・設備等の導入	・	・	約 1,500	初期費用を含む
感染制御に係る機器・設備等の導入	・	・	約 2,300	初期費用を含む 例：滅菌器、洗浄器など
職業感染防止対策	・	・	—	健診、インフルエンザワクチンなど
医療安全に係る院外研修・活動の取組	約 200[人時]	約 700	約 1,000	
インシデントレポート	—[人時]	—	—	
マニュアルなどの作成	約 300[人時]	約 800	—	初期費用を含む
外部評価の受審	—[人時]	—	—	
医療機器等の管理等	—[人]	—	—	チェックを実施
医薬品等の管理等	—[人]	—	—	チェックを実施
賠償責任保険への加入	・	・	—	従事者個人が被保険者となり加入
廃棄物処理・保管	・	・	約 100	
確認作業等の活動	約 100[人時]	約 900	—	
安全に係る機能連携	—[人時]	—	—	
その他の活動の取組	確認中[人時]	確認中	確認中	



<保険薬局の集計結果についての留意点>

※ 集計結果は次ページ以降に示す。

(留意点1)

調剤後監査における医療安全に係るコストを、処方件数の3%について、各5分として計算した。

(留意点2)

医療情報システムに係る全費用を医療安全のコストとするのは適切ではないため、医療安全に関するコストを推計する必要があるが、推計方法を検討中である。今回は、初期費用を含めて全額を示している。

【保険薬局 P-01 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

処方せん枚数	約 5,700 枚	職員	薬剤師	11～15 人
週平均営業日数	7 日		事務職員	3 人
営業費用（1 年間）	約 9.8 億円		その他の職員	3 人

【 P-01 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の 投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	約 0.4 [人]	約 2,400	・	p.8（注 4）
安全管理に係る 会議・委員会・打合せ	約 100 [人時]	約 300	・	
安全管理に係る 研修の取組	約 400 [人時]	約 1,000	約 200	
インシデントレポート 作成・分析等の取組	約 100 [人時]	約 300	約 100	初期費用を含む
マニュアル・手順書・ 申し合わせ事項の作成	約 700 [人時]	約 1,800	約 200	初期費用を含む
調剤業務における 安全対策の実施	約 300 [人時]	約 1,000	約 8,800	初期費用を含む （留意点 1、2）
医薬品等の 安全管理の取組	約 400 [人時]	約 1,000	約 500	初期費用を含む （留意点 2）
服薬に関する 安全管理取組	約 100 [人時]	約 400	—	
副作用防止に 関する取組	・	・	約 11,500	初期費用を含む
感染制御および無菌製剤 に係る取組	・	・	約 12,200	初期費用を含む
職業感染防止対策の 取組	・	・	約 100	
外部評価の受審	— [人時]	—	—	
賠償責任保険への加入	・	—	—	薬剤師賠償責任保険に加入
安全に係る その他の活動の取組	確認中 [人時]	確認中	確認中	

【保険薬局 P-02 基本情報（平成 16 年度 6 月の状況）】

処方せん枚数	約 1,100 枚	職 員	薬剤師	2 人
週平均営業日数	5 日		事務職員	2 人
営業費用（1 年間）	約 0.6 億円		その他の職員	0 人

【 P-02 医療安全の取組に係る費用（平成 16 年度 1 年間）】

項目名	人員の 投入量	人件費 [千円/年]	その他 [千円/年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	約 0.2 [人]	約 1,400	・	p.8（注 4）
安全管理に係る 会議・委員会・打合せ	約 40 [人時]	約 100	・	
安全管理に係る 研修の取組	約 40 [人時]	約 100	約 200	
インシデントレポート 作成・分析等の取組	約 30 [人時]	約 100	—	
マニュアル・手順書・ 申し合わせ事項の作成	約 10 [人時]	—	—	
調剤業務における 安全対策の実施	約 50 [人時]	約 200	約 5,500	初期費用を含む （留意点 1、2）
医薬品等の 安全管理の取組	約 150 [人時]	約 300	約 200	初期費用を含む （留意点 2）
服薬に関する 安全管理取組	約 300 [人時]	約 1,100	—	
副作用防止に 関する取組	・	・	約 900	初期費用を含む
感染制御および無菌製 剤に係る取組	・	・	—	
職業感染防止対策の 取組	・	・	—	予防接種など
外部評価の受審	— [人時]	—	—	
賠償責任保険への加入	・	・	—	日薬、都道府県薬剤師会の 賠償責任保険に加入
安全に係る その他の活動の取組	— [人時]	—	—	

## 医療安全に関する取組の状況についてのヒアリング結果

施設区分	病院（300床未満） H-01
(1-1) 大規模病院と共通する医療安全に係る取組	①教育研修、②マニュアル作成、③医療安全月間開催
(1-2) 当該施設区分に特有の医療安全に係る取組	専任でない（安全管理部門、感染制御部門がない）にも関わらず、大規模病院と同様のことを行っている。
(2) 医療安全に係る新しい取組	新しい器具の購入（離床センサーマット採用・閉鎖式輸液セット採用）
(3) 医療安全に係る取組における課題	①ME（Medical Engineer：臨床工学技士）の採用、②最新で確実な情報の収集とその情報に基づいた実践。
(4) 費用負担が大きい取組	①MEの採用、②最新で確実な情報の収集とその情報に基づいた実践。
(5) 医療安全に係る取組の変化・傾向	最新で確実な情報の収集とその情報に基づいた実践、それについて、職員、患者及び利用者への速やかで分かりやすい情報提供。

施設区分	歯科診療所 D-01
(1-1) 大規模病院と共通する医療安全に係る取組	①スタッフが安全に係る知識を持つ、②安全を優先して設備を導入する。
(1-2) 当該施設区分に特有の医療安全に係る取組	当該医院では、ほぼ毎日、医療従事者全員でのミーティングを行っている。
(2) 医療安全に係る新しい取組	一般に、①グローブするようになった、②薬品による消毒を減らし、熱による滅菌処理を増やしている。 当該医院では、チェアのカバーを毎回交換するようになった。
(3) 医療安全に係る取組における課題	一般に、①むらを少なくする、②平均レベルを上げる、③スタッフの教育。 当該医院では、①水・空気のクリーン化、②マニュアル作成及びチェックの徹底、③他の医療機関との連携。
(4) 費用負担が大きい取組	一般に、①全身管理のための器材と研修、②感染防御のレベルアップのための器材と材料。 当該医院では、①全身管理（心電図、血圧等の計測）の研修、②水・空気のクリーン化。
(5) 医療安全に係る取組の変化・傾向	一般に、①手軽な薬品にたよっている、②ディスポーザブル用品が増えている。 当該医院では、①熱による滅菌処理を行い、薬品は極力使用しない、②ディスポーザブル用品を減らしたいが減らせない、③設備は小型化・高性能化、④研修に係る費用が増加。

施設区分	保険薬局 P-01
(1-1) 大規模病院と共通する医療安全に係る取組	①調剤業務全般の安全性確保のための各種業務マニュアルの整備や調剤機器の導入②調剤過誤などの医療安全に関する教育・研修、③インシデントレポートの収集・解析。
(1-2) 当該施設区分に特有の医療安全に係る取組	①独立した医療提供施設である薬局として、独自の安全管理体制と人員配置（安全対策委員会、リスクマネージャー）、②医薬品適正使用と安全確保のための服薬指導と薬歴管理のための人員配置、③薬手帳の促進による安全性の確保、④処方せん発行医療機関等との機能連携に対する取組み。
(2) 医療安全に係る新しい取組	①各種監査システムの導入により IT 化の促進、②薬局組織としてのエラー対策に加えてヒューマンエラー防止に対する取組み（研修など）、③エラーや事故防止のための各種情報の収集と薬局内での共有化（イントラネット、インターネット環境の整備）。
(3) 医療安全に係る取組における課題	①安全管理の充実や対策に取り組む人員の充実と確保、②医療安全に対する社会の要請と患者の権利意識の変化により職員のストレスが増加、それに対するストレスマネジメントや健康管理の必要性。
(4) 費用負担が大きい取組	①安全体制確保のための十分な人員の確保（業務量増加による必要人員の増加）、②調剤業務のみならず薬局業務全般の IT 化促進、③教育・研修の充実。
(5) 医療安全に係る取組の変化・傾向	①安全を確保するための業務の増大（服薬指導充実のため薬剤師一人当たりの業務量の増加など）、②薬局内での情報の共有や医療機関との連絡や連携協力が増加。

施設区分	保険薬局 P-02
(1-1) 大規模病院と共通する医療安全に係る取組	入院時や退院時に「お薬手帳」を用い、服用薬（持参薬）等の情報共有（機能連携）
(1-2) 当該施設区分に特有の医療安全に係る取組	①「医療提供施設」である薬局として、医療安全に関する管理体制作り（研修・業務マニュアルの作成・人員確保）、②調剤事故事例の共有。
(2) 医療安全に係る新しい取組	①IT化への取り組みは不可避、②薬局内各IT機器間のデータ連携に向けデータフォーマットの共通（標準）化、③薬局間や診療側との患者情報の共有化。
(3) 医療安全に係る取組における課題	①薬局IT化費用、②IT機器盲信の落とし穴（IT機器と人との調和？）、③各医療職種間での患者情報・薬剤情報の共有化。
(4) 費用負担が大きい取組	①薬局内IT化のための費用（調剤鑑査システム・電子薬歴等の導入費用）、②医療安全を図るための十分な人員（薬剤師）の確保、③スタッフ（薬剤師・事務）への安全教育。
(5) 医療安全に係る取組の変化・傾向	①患者からの情報を医療機関と共有が進む、②薬剤師の扱う業務量（情報量）の増加。

#### 4. 調査結果のとりまとめ（3月を予定）に向けた対応

中間報告の調査・分析を進めるとともに、各医療機関における安全対策の導入効果と課題等についても把握に努め、考察を行う。

##### <検討委員会の開催>

###### 第1回検討委員会

【日時】平成17年 11月4日（金）

【議事】調査設計の検討

###### 第2回検討委員会

【日時】平成17年12月1日（木）

【議事】中間報告のとりまとめ

###### 第3回検討委員会（予定）

【日時】平成18年1月13日（金）

【議事】調査実施に関する検討

###### 第4回検討委員会（予定）

【日時】未定

【議事】報告書のとりまとめ



# 医療の安全・質に要するコストの調査（病院:300床以上）

## 2005年12月中間報告（案）

2005/12/06（12/02案 改訂中）

厚生労働科学研究費補助金 政策科学推進研究事業（H16-政策-14）

『医療における安全・質確保のための必要資源の研究：

「品質原価」と「持続可能性のための原価」の測定と分析』

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野

### 1. 調査の目的

医療の質と安全の確保へ医療界ならびにより広く社会における要望は益々高まってきており、質と安全の確保のために、医療機関は体制を充実し活動を強化してきている。そのための人的および物的負担は益々大きくなってきている。平成17年度、当調査研究は、医療の質と安全の確保に関して先進的な取り組みを行っている医療機関の内、比較的大規模の病床（300床以上等）を対象に、医療の質と安全を保証し向上させるための組織体制づくりや活動状況等の実態を把握し、その必要資源を明らかにしコスト計算を行い、今後の医療の質・安全への取り組み方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査項目の説明

医療の質と安全の確保に関する以下の要素を、実態把握とコスト把握の対象範囲とする。およそ1999年頃より医療の質と安全の確保へ取り組みの強化が進んできており、そのころの一般的な水準に比しての増分費用を把握する。

項目名	説明
安全管理に係る人員配置状況	安全管理に係る計画・実施・分析等を院内で中心的に担う部署の人員配置に要する増分費用
感染制御に係る人員配置状況	感染制御に係る計画・実施・分析等を院内で中心的に担う部署の人員配置に要する増分費用
医療安全に係る委員会・会合の取組状況	安全管理に係る全ての委員会・会合の実施・準備に要する増分費用（例：管理委員会、事故調査委員会、医薬品・医療機器・輸血・医療ガス等に係る委員会等）
安全管理に係る機器・設備等の導入状況	安全の維持・向上への貢献が期待できる器材・機器・設備等に要する増分費用（例：リストバンド、看護支援携帯端末、カラーシリンジ、関連する情報機器・設備等）
感染制御に係る機器・設備等の導入状況	感染を予防するための器材・機器・設備等に要する増分費用（例：消毒・洗浄剤、グローブ、マスク、ガウン、手洗い機器、抗菌カテーテル、針刺し防止用注射器、抗菌床材、陰圧隔離室等）

職業感染防止対策の取組状況	職業感染防止に係る各種ワクチン、抗体検査、ツ反等に要する費用
内部レビュー・ラウンド等の取組状況	安全管理・感染制御に係る内部レビュー・ラウンドの実施・準備に要する増分費用（例：マニュアル遵守の内部レビュー、診療録レビュー等）
医療安全に係る院内研修の取組状況	安全管理・感染制御に係る院内研修の実施・準備に要する増分費用（ME 部門・薬剤部門・看護部門の主導によるものを含む）
医療安全に係る院外研修・活動の取組状況	安全管理・感染制御に係る院外研修・活動に要する費用（学会参加、講師としての講演も含む）
インシデントレポート作成・分析等の取組状況	インシデントレポート等の作成（当事者による記入と所属長の確認）・分析に要する増分費用（インシデントレポート、アクシデントレポート等）
院内感染サーベイランス等の取組状況	病院感染サーベイランスのためデータ作成や活動に要する増分費用（MRSA 関連、手術部位感染、尿路留置カテーテル関連尿路感染、中心静脈ライン関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎等）
医療安全に係るマニュアル・手順書の作成状況	安全管理・感染制御に係る全ての院内共通マニュアル・手順書の新規作成・改訂に要する増分費用（ME 部門・薬剤部門・看護部門等の主導によるものを含む）
外部評価（ISO9001 等）の受審状況	1999 年度以降に受審した全ての外部評価（医療機能評価機構・ISO 等の新規と更新を含む）の準備と受審に要する増分費用の 1 年あたりの増分費用
医療機器等の管理等の取組状況	臨床工学技士による医療機器の管理活動を含む取組状況と機器解析装置の導入等に要する増分費用
医薬品等の管理等の取組状況	薬剤師による医薬品等の管理活動と関連装置の導入等に要する増分費用
賠償責任保険への加入状況	医療機関が被保険者となって負担した賠償責任保険の保険料に要する増分費用
安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携	他の医療機関や保険薬局等との機能連携に要する増分費用（大規模医療機関にあたっては、記載済みのものと重複が多いと考えられ項目を独立させていない）
医療安全に係るその他の活動の取組状況	上記項目に該当しないものの、安全管理・感染制御のための活動に要する増分費用

### 3. コスト調査の方法と結果

#### (1) コストの算出方法

調査結果は、主に人件費とその他諸経費とに分類して示している。人件費は、国家公務員による給与を基本に、賞与（月額換算）、退職給付金（月額換算）、法定福利費（事業主負担部分）を含めた時間給を算定することにより推計した。

その他諸経費には、安全管理や感染制御に係る機器・設備等の導入に伴う増分費用のみならず、各調査項目を実施するうえで必要不可欠な、担当者の常駐室費用、会議室費用、研修会場費用、印刷費用、外部審査受審費用等が含まれる。機器・設備の導入費用は、医療機関の購入価格ではなく市場流通価格を使用し、スペースに要する費用は、当該地域における貸会議室料等を参考に算定した。（ただし、今回の調査結果には、スペースに要する費用は含まれていない）

#### (2) 調査結果

調査対象施設のうち3施設の結果の概要を次頁以降に示す。対象施設が同定されぬよう、基本情報は概要のみ示すにとどめている。

#### 【注意】

現時点では、医療の質・安全の原価の測定方法の開発段階にあり、項目それぞれの原価の把握に改善の余地が残され、データ収集も結果の検証も途中の段階にあり、項目毎の合算値は妥当な総額にはならない。以上のことなどから、当中間報告の値は、今後の妥当な原価計算に向けての検討に資するための参考資料にとどめ、制度・政策の根拠とする段階にはないことを、しっかりと留意する必要がある。

## 【病院 101 基本情報】

病床	許可病床	約 500 床
	療養病床割合	0%
患者	入院延べ患者数	約 150,000 人
	外来延べ患者数	約 300,000 人
院外処方割合		約 0 %

職員	医師・歯科医師	約 100 人・5~10 人
	薬剤師	約 20 人
	看護職員	約 420 人
	医療技術員	約 160 人
	その他の職員	約 380 人

## 【病院 101 医療安全の取組に係る費用】

項目名	人員の投入量	人件費 [千円 / 年]	その他 [千円 / 年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	約 1.4 人	約 10,000	—	(以下と重複部分あり)
感染制御に係る人員配置	約 0.5 人	約 3,000	—	(以下と重複部分あり)
医療安全に係る委員会・会合の取組	約 17,900 人時	約 50,000	—	
安全管理に係る機器・設備等の導入		—	約 4,000	その他、確認中の機器・設備あり*
感染制御に係る機器・設備等の導入		—	約 17,000	その他、確認中の機器・設備あり
職業感染防止対策の取組	約 1,000 人時	約 7,000	—	
内部レビュー・ラウンド等の取組	約 1,000 人時	約 3,000	—	
医療安全に係る院内研修の取組	約 2,300 人時	約 13,000	—	
医療安全に係る院外研修・活動の取組	約 1,400 人時	約 4,500	約 2,500	
インシデントレポート作成・分析等の取組	約 3,300 人時	約 11,000	—	
院内感染サーベイランス等の取組	約 2,400 人時	約 8,000	—	
医療安全に係るマニュアル・手順書の作成	約 300 人時	約 800	約 800	その他、確認中の活動あり
外部評価の受審	約 130 人時	約 800	約 800	日本医療機能評価機構受審の準備等
医療機器等の管理等の取組	約 3.0 人	約 21,000	—	1999 年度からの増加分から算出
医薬品等の管理等の取組	約 8.0 人	約 50,000	約 8,000	1999 年度からの増加分から算出。
賠償責任保険への加入		—	約 20,000	
廃棄物処理・保管に係る取組	確認中	約 49,000	—	感染性、非感染性等の処理の合計
安全管理に係る確認作業等に要する活動	2 時間増/患者	精査中	—	平均 2 時間増の説明時間を所要
安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携		—	—	
医療安全に係るその他の活動の取組	確認中	—	—	

\*電子カルテ・オーダーリングシステム導入費用・保守費用は未記載。「人」は常勤換算。

## 【病院 102 基本情報】

病床	許可病床	約 700 床
	療養病床割合	0%
患者	入院延べ患者数	約 200,000 人
	外来延べ患者数	約 300,000 人
院外処方割合		約 70 %

職員	医師・歯科医師	約 130 人・2~5 人
	薬剤師	約 20 人
	看護職員	約 480 人
	医療技術員	約 90 人
	その他の職員	約 70 人

## 【病院 102 医療安全の取組に係る費用】

項目名	人員の投入量	人件費 [千円 / 年]	その他 [千円 / 年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	約 0.7 人	約 5,000	—	(以下と重複部分あり)
感染制御に係る人員配置	約 0.6 人	約 4,000	—	(以下と重複部分あり)
医療安全に係る委員会・会合の取組	約 3,000 人時	約 13,000	—	その他、確認中の活動あり
安全管理に係る機器・設備等の導入		—	約 24,000	その他確認中の機器・設備あり*
感染制御に係る機器・設備等の導入		—	—	
職業感染防止対策の取組	B型肝炎 130 人分	—	—	その他：自己負担によるものあり
内部レビュー・ラウンド等の取組	約 1,900 人時	約 9,000	—	その他、確認中の活動あり
医療安全に係る院内研修の取組	約 1,600 人時	約 5,000	—	その他、確認中の活動あり
医療安全に係る院外研修・活動の取組	約 800 人時	約 3,000	約 2,000	
インシデントレポート作成・分析等の取組	約 3,700 人時	約 6,000	—	
院内感染サーベイランス等の取組	約 300 人時	約 1,000	—	その他、確認中の活動あり
医療安全に係るマニュアル・手順書の作成	約 3,500 人時	約 3,000	約 100	
外部評価の受審	確認中	—	—	日本医療機能評価機構、ISO
医療機器等の管理等の取組	約 1.0 人	約 8,000	—	1999 年度からの増加分から算出
医薬品等の管理等の取組	約 2.0 人	約 9,000	—	1999 年度からの増加分から算出
賠償責任保険への加入		—	—	確認中
廃棄物処理・保管に係る取組	確認中	—	約 19,000	感染性廃棄物のみを対象
安全管理に係る確認作業等に要する活動	確認中	—	—	確認中
安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携		—	—	
医療安全に係るその他の活動の取組	確認中	—	—	

\*電子カルテ・オーダーリングシステム導入費用・保守費用は未記載。「人」は常勤換算。

## 【病院 103 基本情報】

病床	許可病床	約 400 床
	療養病床割合	0%
患者	入院延べ患者数	約 100,000 人
	外来延べ患者数	約 300,000 人
院外処方割合		約 100 %

職員	医師・歯科医師	約 110 人・0 人
	薬剤師	約 20 人
	看護職員	約 350 人
	医療技術員	約 270 人
	その他の職員	約 150 人

## 【病院 103 医療安全の取組に係る費用】

項目名	人員の投入量	人件費 [千円 / 年]	その他 [千円 / 年]	課題・注意事項
安全管理に係る人員配置	約 2.0 人	約 13,000	—	(以下と重複する)
感染制御に係る人員配置	約 0.2 人	約 1,300	—	(以下と重複する)
医療安全に係る委員会・会合の取組	約 1,400 人時	約 5,000	—	準備、その他は確認中
安全管理に係る機器・設備等の導入		—	約 600	その他、確認中の機器・設備あり*
感染制御に係る機器・設備等の導入		—	約 16,000	その他、確認中の機器・設備あり
職業感染防止対策の取組	確認中	—	—	
内部レビュー・ラウンド等の取組	約 150 人時	約 500	—	その他、確認中の活動多数
医療安全に係る院内研修の取組	約 3,300 人時	約 12,000	—	その他、確認中の活動あり
医療安全に係る院外研修・活動の取組	約 1,300 人時	約 4,500	約 500	
インシデントレポート作成・分析等の取組	約 4,600 人時	約 15,000	—	その他、確認中の活動あり
院内感染サーベイランス等の取組	約 40 人時	約 300	—	その他、確認中の活動多数
医療安全に係るマニュアル・手順書の作成	約 90 人時	約 300	約 100	その他、確認中の活動多数
外部評価の受審	約 160 人時	約 500	約 2,500	確認中の活動あり
医療機器等の管理等の取組	約 1.0 人	約 7,500	約 1,500	1999 年度からの増加分
医薬品等の管理等の取組	確認中	—	—	
賠償責任保険への加入		—	—	
廃棄物処理・保管に係る取組	確認中		約 22,000	感染性廃棄物のみを対象
安全管理に係る確認作業等に要する活動	確認中	—	—	
安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携		—	—	
医療安全に係るその他の活動の取組	確認中	—	—	

\*電子カルテ・オーダリングシステム導入費用・保守費用は未記載。「人」は常勤換算。

診調組	コ	-	5
17	.	12	.6

# 平成17年度 医療安全に関するコスト調査 調査票

病院票	1頁
一般診療所票	26頁
歯科診療所票	49頁
保険薬局票	70頁

医療安全に関するコスト調査（病院票）

【基本情報】

調査用整理番号		平成16年度		平成17年度	
項目		許可病床	稼働病床	許可病床	稼働病床
病床の状況 ※各年度の6月30日現在	1. 一般病床	床	床	床	床
	2. 療養病床	床	床	床	床
	[再掲]指定介護療養型施設	床	床	床	床
	3. 精神病床	床	床	床	床
	[再掲]指定介護療養型施設	床	床	床	床
	4. 結核病床	床	床	床	床
	5. 感染症病床	床	床	床	床
入院患者の状況 ※在院患者数以外は各年度6月の1か月間	1. 在院患者数 ※6月30日現在		人		人
	2. 在院患者延べ数	延べ	人	延べ	人
	3. 新規入院患者数		人		人
	4. 退院患者数		人		人
外来患者の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 初診患者数		人		人
	2. 再診患者延べ数	延べ	人	延べ	人
処方の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 院外処方(処方せん料)		回		回
	2. 院内処方(処方料)		回		回
職員の状況 (常勤換算) ※各年度の6月30日現在	1. 医師		人		人
	2. 歯科医師		人		人
	3. 薬剤師		人		人
	4. 看護師		人		人
	5. 医療技術員		人		人
	6. 事務職員		人		人
	7. 技能労務員・労務員		人		人
医業収支 ※平成16年度の1年間	1. 医業収入		千円		千円
	2. 医業費用		千円		千円

1

1. 安全管理に係る組織に要する人員配置状況について

- 問1: 2004年6月30日時点で、安全管理に係る計画・実施・分析等を院内で中心的に担う部署（以後、安全管理部門）に所属する構成員それぞれについて役職名を記入して下さい。  
 (例: ジェネラルリスクマネージャー、安全管理室長、リスクマネージャー、安全管理室員、安全管理推進室員等)
- 問2: ①に記入した担当者の②職種、③経験年数を記入欄から選択して○をつけて下さい。  
 なお、一般的に医療技術員は医療にかかわる専門技術員を指しますが、本調査票では薬剤師は独立した選択肢を設けておりますので、医療技術員は薬剤師を除いた医療技術員（診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、臨床工学技師など医療に係わる専門技術員）を指します。
- 問3: ④には①に記入した担当者の全活動時間のうち、安全管理に係る取組の活動時間の割合を2004年6月の活動時間に基づいて記入して下さい。  
 (1週間毎日安全管理に係る活動している場合は100%、1週間の内1日だけ活動している場合は20%、半日だけ活動している場合は10%と考えると把握しやすいです)  
 ⑤には概算でかまいませんので、④の内訳を合計で100%になるように記入して下さい。
- 問4: 安全管理部門が駐在可能な場所のおよその面積を記入欄の⑥に記入して下さい。また、コンピューター、コピー機の設置台数を記入欄の⑦⑧に記入して下さい。  
 また、安全管理に係る業務でのおよその使用割合を記入して下さい。

《 記入欄 》

①安全管理部門メンバーの構成 (役職名記入)	②職種 (該当するものに○を記入)	③経験年数	④安全管理活動割合 [%]	⑤左記(④)の内訳を合計で100%になるよう概算で記入して下さい											
				委員会・ 会合[%]	ラウンド・ 内部レビュー [%]	研修・教 育活動 [%]	インシデント 分析[%]	マニュアル・ 手順書作成 [%]	外部評価 [%]	医薬品・ 血液製剤 安全管理 [%]	医療機器 安全管理 [%]	事故対応 [%]	その他 [%]		
1	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
2	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
3	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
4	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
5	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
6	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
7	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
8	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
9	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													
10	医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	10年未満 10年以上													

	⑥駐在場所の面積(m <sup>2</sup> )	⑦コンピューター設置数	⑧コピー機設置数
実数	m <sup>2</sup>	台	台
安全管理について の使用割合	%	%	%



2 感染制御に係る組織に要する人員配置状況について

問1: 2004年6月30日時点で、感染制御に係る計画・実施・分析等を院内で中心的に担う部署（以後、感染制御部門）に所属する構成員それぞれについて役職名を記入して下さい。

(例: 感染管理室長、感染管理室員、リンクナース等)

問2: ①に記入した担当者の②職種、③経験年数を記入欄から選択して○をつけて下さい。

なお、一般的に医療技術員は医療にかかわる専門技術員を指しますが、本調査票では薬剤師は独立した選択肢を設けておりますので、医療技術員は薬剤師を除いた医療技術員（診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士など医療に係わる専門技術員）を指します。

問3: ④には①に記入した担当者の全活動時間のうち、感染制御に係る取組の活動時間の割合を2004年6月の活動時間に基づいて記入して下さい。

(1週間毎日感染制御に係る活動している場合は100%、1週間の内1日だけ活動している場合は20%、半日だけ活動している場合は10%と考えると把握しやすいです)

⑤には概算でかまいませんので、④の内訳を合計で100%になるように記入して下さい。

問4: 感染制御部門が駐在可能な場所のおよその面積を記入欄の⑥に記入して下さい。また、コンピューター、コピー機の設置台数を記入欄の⑦⑧に記入して下さい。また、感染制御に係る業務でのおよその使用割合を記入して下さい。

《 記 入 欄 》

	①感染制御部門メンバーの構成 (役職名記入)	②職種 (該当するものに○を記入)	③ 経験年数	④ 感染制御 活動割合 [%]	⑤左記(④)の内訳を合計で100%になるよう概算で記入して下さい							
					委員会・会 合 [%]	内部レ ビュー・ラ ウンド [%]	研修・教育 活動 [%]	サーベイ ランス [%]	マニュアル・手 順書作成 [%]	病院感染・ アウトブレイク等 への対応 [%]	その他 [%]	
1		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
2		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
3		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
4		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
5		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
6		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
7		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
8		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
9		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
10		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員等	10年未満 10年以上									
	⑥駐在場所の面積[m <sup>2</sup> ]	⑦コンピューター設置数	⑧コピー機設置数									
実数	m <sup>2</sup>	台	台									
感染制御について の使用割合	%	%	%									

3. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る委員会・会合の取組状況について (1:開催)

問1: 2004年度に開催した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての委員会・会合の種類を記入欄の①に記入して下さい。会合名と内容が分かるようにご記入下さい。

(例: 安全管理に係る最高意思決定を執り行う安全管理委員会、事故調査委員会、安全管理部門での定例会議、医薬品安全使用に係る委員会、薬剤委員会、薬事委員会等の定例会議、医療機器に係る委員会、輸血・血液に係る委員会、医療ガスに係る委員会、感染制御に係る最高意思決定を執り行う感染制御委員会、感染管理部門での定例会議、リンクナースの情報交換のためのリンクナース会議、その他安全管理、感染制御について時間を設けている各種会合等)

問2: ①に記入した委員会・会合について、②各構成員の職種種別出席者数、③1回当りの開催時間と年間開催回数をご記入ください。

注: 安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記 入 欄 》

	① 2004年度に開催した 委員会・会合 (会合名・内容)	②各委員会・会合の出席者構成員数 (委員・事務局スタッフ含む)														③所要時間			
		医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等		1回当り 開催時間 [時間]	年間 開催回 数
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]				
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

3. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る委員会・会合の取組状況について（2：準備）

問：2004年度に開催した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る委員会・会合について、①準備に時間や人手のかかる主だった委員会・会合の名称、②準備を行う担当者の職種別人数、③1人1回当たりの平均準備時間と年間実施回数をご記入ください。

注：委員会の設置・立上げの際にとりわけ多大な時間や労力がかかったものについても可能な範囲でご記入下さい。準備には、資料作成や議事録作成等の時間も含まれます。

注：安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記入欄 》

	① 準備や立上げに時間や人手のかかる主だった委員会・会合 (会合名・内容)	②各委員会・会合の準備担当者														③準備所要時間			
		医師			歯科医師			薬剤師		薬剤師		看護師		事務管理系		技能労務員等		1回当たり 準備時間 [時間]	年間 実施回数
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]				
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

4. 安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問：現在使用している安全管理や感染制御への貢献が期待できる全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②導入年度、③導入時点の状況、④調達方法、⑤購入額・賃借額、⑥算出の根拠（量・単価等）、⑦法定耐用年数、⑧利用予定年数を記入欄に記入して下さい。

(例：リストバンド、看護支援携帯端末、警報装置、転落防止器具、衝撃吸収床材、職員ワッペン、オーダーエントリーシステム、その他の関連する情報機器・設備等)

注：感染制御に関連する器材等については、p.8の「5. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について」にご記入ください。

・安全の維持・向上に対しても貢献が期待できるオーダーエントリーシステム、電子カルテ等のIT設備は、安全部分に相当する費用を算出するのは困難であるため、導入・維持・保守に要した費用の全額を記入して下さい。なお、その際医療機器は除いて下さい。

・消耗品の利用予定年数は「0」と記入して下さい。

《 記入欄 》

	①現在使用している安全管理に係る 器材・機器・設備	② 導入年度	③ 導入時点の状況	④ 調達方法	⑤ 購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥ 算出根拠（量、単価等）	⑦ 法定耐用 年数	⑧ 利用予定 年数
1			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
5			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
6			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
7			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
8			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
9			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
10			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
11			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
12			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
13			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
14			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
15			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

	①現在使用している安全管理に係る 器材・機器・設備	② 導入年度	③ 導入時点の状況	④ 調達方法	⑤ 購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥ 算出根拠 (量、単価等)	⑦ 法定耐用 年数	⑧ 利用予定 年数
16			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
17			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
18			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
19			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
20			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
21			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
22			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
23			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
24			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
25			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
26			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
27			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
28			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
29			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
30			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
31			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
32			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
33			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
34			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
35			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

## 5. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問：現在使用している感染を予防するための全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②導入年度、③導入時点の状況、④調達方法、⑤購入額・賃借額、⑥算出の根拠（量・単価等）、⑦法定耐用年数、⑧利用予定年数を記入欄に記入して下さい。

（例：消毒・洗浄剤、ハンドローション、グローブ、マスク、ガウン、手洗い機器、抗菌剤、針刺し防止用注射器、抗菌床材、陰圧隔離室等）

注：職業感染防止のための各種リフト、抗体検査、ツ反等の実施状況についてはp.10の「6. 職業感染防止対策について」でご回答ください。

注：ディスプレイ用品や消耗材の利用予定年数は「0」と記入して下さい。

## 《 記入欄 》

	①現在使用している感染制御に係る 器材・機器・設備	② 導入年度	③ 導入時点の状況	④ 調達方法	⑤ 購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥ 算出根拠 (量、単価等)	⑦ 法定耐用 年数	⑧ 利用予定 年数
1			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
5			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
6			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
7			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
8			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
9			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
10			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
11			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
12			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
13			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
14			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
15			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

《 記入欄 》

	①現在使用していた感染制御に係る 器材・機器・設備	② 導入年度	③ 導入時点の状況	④ 調達方法	⑤ 購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥ 算出根拠 (量、単価等)	⑦ 法定耐用 年数	⑧ 利用予定 年数
16			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
17			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
18			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
19			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
20			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
21			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
22			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
23			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
24			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
25			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
26			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
27			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
28			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
29			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
30			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
31			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
32			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
33			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
34			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
35			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

6. 職業感染防止対策について

問: 2004年度に実施した職業感染防止のための各種ワゴン、抗体検査、ツ反等の実施状況について①実施内容、②概算費用、③算出の根拠(量・単価等)を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

	①2004年度に実施した職業感染防止対策の取り組み内容	②概算費用[千円]	③算出の根拠(量・単価等)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

7. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る内部レビュー・ラウンド等の取組状況について

問：2004年度に実施した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての内部レビュー・ラウンド、症例検討会に相当する取組事例について①の欄に記入して下さい。

(例：マニュアル遵守の内部レビューなど各種の内部レビュー・評価、診療録レビュー、安全・質確保、感染予防のために近年増設した症例検討会、化学療法や輸血・血液療法に関する検討会、抗生剤使用に関する検討会等)

①に記入した取組事例について、②職種別担当者数、③1人1回当たりの平均所要時間と年間実施回数、④開始年度を記入欄に記入して下さい。

注：安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記入欄 》

①2004年度に実施した 内部レビュー・ ラウンドの取組事例 (名称・内容)	②各取組事例の担当者数																③所要時間		④ 開始 年度
	医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等		1回当り 所要時 間 [時間]	年間 実施 回数	
	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			

8. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院内研修の取組状況について

問：2004年度に実施した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院内研修について、①取組事例、②職種別参加者数、③1回当たりの開催時間と年間開催回数、④諸経費（会場料、資料費、講師謝金等）についておおよその値を記入欄に記入して下さい。

注：ME部門や薬剤部、看護部等が中心となって開催された研修についても記入して下さい。また、院内のスタッフが講師を担当した場合は、参加者人数に含めて下さい。

注：安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記入欄 》

①2004年度に実施した 院内研修 (名称・内容)	②各院内研修の参加者数																③実施状況		④諸経 費 [千円]
	医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等		1回当り 開催時間 [時間]	年間 開催回数	
	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

9. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院外研修・活動の取組状況について

問：2004年度に参加した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院外研修・活動について、①取組事例、②職種別参加者数、③移動時間と参加時間を合わせた参加者1人あたりの平均所要時間、④交通費・宿泊費と研修費を記入欄に記入して下さい。

注：学会への参加も対象となります。また、講師として講演に行かれた場合も記入して下さい。

注：安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

注：所要時間は、1日を8時間、半日を4時間と換算してください。宿泊込みの参加の場合も1日は8時間と計算してください。

《 記入欄 》

	①2004年度に参加した院外研修 (名称・内容)	②各院外研修の参加者数														③ 所要時間 [時間]	④諸経費			
		医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等		交通費 宿泊費 [千円]	研修費 [千円]
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]		
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				

10. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について

問1：2004年度のインシデントレポート等の作成について、①レポートの種類、②2004年度のレポート総件数とそのうち医薬品安全使用に係るレポート件数、③職種別内訳件数、④1件当たり所要時間（当事者の記入、所属長の確認、データベースへの入力）を記入欄に記入して下さい。なお、④の1件当たりの所要時間は平均的な値について概算を記入して下さい。（レポートの種類：インシデントレポート、アクシデントレポート、ヒヤリハットレポート等）

問2：2004年度のインシデントレポートの分析や改善策立案等について、①取組事例、②職種別実施担当者数、③所要時間（1回当たり所要時間と年間実施回数）、④開始年度を記入して下さい。

（例：根本原因分析、分析ソフトを用いた解析、改善策立案検討のための会合等）

問3：2004年度にインシデントレポートの作成・分析等の活動を実施するに当たり必要となる設備・器材について①項目、②数量と費用等について記入欄に記入して下さい。なお、IT設備に係るものはp.6の「4.安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について」に記入をお願いいたします。

（例：コンピュータ、分析用ソフトウェア、複写・印刷物、消耗品等）

注：取り組みに携わった担当者数等については、安全管理部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記入欄 》

【問1：インシデントレポートの作成（2004年度）】

	①2004年度に作成したインシデントレポートの種類 (名称・内容)	②2004年度レポート件数		③左記(②)の内、職種別レポート内訳件数(再掲)							④1件当たり所要時間		
		総件数	左記の内医薬品に係る件数(再掲)	医師 [件]	歯科医師 [件]	薬剤師 [件]	看護師 [件]	医療技術員 [件]	事務管理系 [件]	技能労務員等 [件]	当事者記入 [分]	所属長確認 [分]	データベース入力 [分]
1													
2													
3													

【問2：インシデントレポートの分析・改善策立案等（2004年度）】

	①2004年度に実施したインシデントレポートの分析・改善策立案のための取組事例	②実施担当者														③所要時間		④開始年度		
		医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等			1回当たり 所要時間 [時間]	年間 実施回数
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1																				
2																				
3																				

【問3：インシデントレポートの作成・分析等の活動に要した設備・器材（2004年度）】

	①項目	②量、費用等（算出の根拠）
1		
2		
3		

1.1. 院内感染サーベイランス等の取組状況について

問1：2004年度に実施した院内感染サーベイランスについて、①取組事例、②職種別実施者数、③1回当りの所要時間と年間実施日数、④開始年度について記入欄に記入して下さい。なお、所要時間は概算で構いません。

(例：MRSA関連、手術部位感染、尿路留置カテーテル関連尿路感染、中心静脈ライン関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎等)

問2：2004年度に実施した院内感染サーベイランスに要した設備・器材等（ハードウェア、ソフトウェア、培養、報告書作成費用等）について、①具体的項目、②概算費用、③算出の根拠を記入欄に記入して下さい。なお、報告書作成費用には、作成作業にかかった人件費、報告書印刷費を含んでお答えください。

注：感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記入欄 》

【問1：院内感染サーベイランスの実施状況（2004年度）】

	① 2004年度に実施した 院内感染サーベイランス (名称・内容)	②各院内感染サーベイランスの実施者数														③所要時間		④ 開始年度		
		医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等			1回当り 所要時間 [時間]	年間 実施日数
		経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]			
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				

【問2：院内感染サーベイランスに要した設備・器材等（2004年度）】

	院内感染サーベイランスに要した設備・器材等		
	①具体的項目	②概算費用[千円]	③算出の根拠 (件数・台数や単価等)
ハードウェア（コンピュータ等）			
ソフトウェア・システム			
検査			
報告書作成			
その他			

1.2. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成状況について

問：現在使用している安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院内共通マニュアル・手順書について、①マニュアル・手順書の種類、②作成した職種別担当者数、③作業の1人あたり平均所要時間、④新規作成年度と最近の改訂年度、⑤マニュアル・手順書作成に要した諸経費（印刷経費、資料費等）を記入欄に記入して下さい。

注：ME部門や薬剤部門等が中心となり作成されたマニュアル・手順書等についても記入して下さい。

注：安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記入欄 》

	①現在使用している マニュアル・手順書の種 類 (名称・内容)	②各マニュアル・手順書作成の担当者数														③ 1人あた り平均所 要時間 [時間]	④作成年度		⑤ 諸経費 [千円]	
		医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等			新規作 成年度
		経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]	経歴年数 10年未満 [人]	経歴年数 10年以上 [人]			
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				

1 3. 外部評価（医療機能評価機構、ISO9001、BS7799等による認定・監査）の受審状況について

問1：1999年度以降に新規で受審した全ての外部評価の中で、医療安全・感染制御・医薬品安全使用に関連するものについて、①外部評価の名称、②受審年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用（外部コンサルタントへの委託費用を含む）を記入欄に記入して下さい。

問2：1999年度以降に更新した外部評価の中で、医療安全・感染制御・医薬品に関連するものについて、①外部評価の名称、②更新年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用（外部コンサルタントへの委託費用を含む）を記入欄に記入して下さい。

注：安全管理部門、感染制御部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記 入 欄 》

【問1：1999年度以降に新規取得した外部評価】

	① 1999年度以降に新規受審した外部評価	② 受審年度	③審査の準備を行った担当者数														④ 1人あたり平均所要時間 [時間]	⑤その他経費			
			医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等		受審費用 [千円]	情報収集費用 [千円]
			経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]		
1																					
2																					
3																					
4																					

【問2：1999年度以降に更新した外部評価】

	① 1999年度以降に更新した外部評価	② 更新年度	③審査の準備を行った担当者数														④ 1人あたり平均所要時間 [時間]	⑤その他経費				
			医師			歯科医師			薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等		受審費用 [千円]	情報収集費用 [千円]	
			経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	診療科長 以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1																						
2																						
3																						
4																						

1 4. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（1：医療機器）

問1：2004年度の臨床工学技士の活動状況について、①臨床工学技士の所属部署名、②臨床工学技士の人数（常勤換算）、③全臨床工学技士の総活動時間における活動時間の内訳をご記入ください。また、医療機器の管理について、④一元管理の有無、⑤設置台数・種類、⑥メンテナンス契約付き機器の導入台数とメンテナンス部分の追加費用について2004年度の状況についてそれぞれ記入欄に記入して下さい。なお、メンテナンス部分の追加費用は、メンテナンス契約付き機器の単価と契約のない機器の単価との差額により概算で構いませんので記入して下さいと幸いです。

問2：2004年度における医療機器の安全管理に係る活動や設備利用の状況について、①活動内容・設備名称、②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠となるもの）、③開始・導入年度について記入欄に記入して下さい。  
（活動例：院内巡回）（設備導入例：輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器等の解析装置等）

注：安全管理部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記 入 欄 》

問1：臨床工学技士の活動状況

2004年度の状況		④ 一元管理の有無	⑤保有状況		⑥メンテナンス契約付き機器	
①臨床工学技士の所属部署	②臨床工学技士の人数[常勤換算]		台数	種類	台数	メンテナンス部分追加費用 [千円]
③活動割合	透析機器の管理[人]					
	人工心臓の管理[人]					
	その他医療機器の管理[人]					
	その他[人]					

問2：医療機器の安全管理に係る活動・設備利用の状況（2004年度）

①活動内容・利用設備	②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠）	③開始・導入年度
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		



15. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（2：医薬品・血液製剤）

問1：2004年度の医薬品・血液製剤の管理体制について、①薬剤師（常勤換算）の経験年齢別人数、②全薬剤師の総活動時間における活動時間の内訳、④調剤・調整業務における活動時間の内訳について、それぞれ記入欄に記入して下さい。なお、④の「調剤・調整」の中の注射薬のミキシングは調剤・調整業務における割合を、無菌調製は注射薬のミキシングにおける割合を記入して下さい。割合の内訳の記入は概算で構いません。

問2：2004年度における医薬品・血液製剤の管理に係る活動や設備利用の状況について、①活動内容・設備名称、②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠となるもの）、③開始・導入年度について記入欄に記入して下さい。  
 （活動例：特定生物由来製品に係る保管・管理活動、麻薬・劇薬等特に管理が必要な薬剤に係る保管・管理活動、レジメンチェック、抗生物質の使用状況調査と感染起因菌の分析等）  
 （設備導入例：分包機、クリーンルーム、クリーンベンチ、血液製剤の保冷库・冷凍庫・溶解用恒温槽等）

注：安全管理部門のスタッフを含めてお答えください。

《 記 入 欄 》

問1：医薬品・血液製剤等に関する活動状況（2004年度）

	①薬剤師人数（常勤換算）		③活動割合(%)（合計で100%になるよう概算で記入して下さい）				
	経験年数 10年未満[人]	経験年数 10年以上[人]	調剤・調整	薬剤購入・保 管・管理	薬歴管理・服 薬指導	DI業務・医療 者への指導	その他
薬剤師							

④調剤・調整業務における活動割合(%)（合計で100%になるよう概算で記入して下さい）

調剤・調整	注射薬のミ キシング[再 掲]	無菌調製 [再掲]	内服薬の 一回量調剤 [再掲]	抗がん剤の調 剤[再掲]	レジメン チェック [再掲]	薬歴チェック [再掲]	無菌調剤 [再掲]

問2：医薬品・血液製剤の管理に係る活動・設備利用の状況（2004年度）

	①活動内容・利用設備	②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠）	③開始・導入年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

16. 賠償責任保険について

問1：2004年度に貴院が被保険者となって負担した賠償責任保険の保険料についてご記入下さい。

注：院内で発生した医療行為に起因する医療事故だけでなく、医療施設に起因する医療事故も含めてご記入下さい。

問2：2004年度に貴院に勤務する従事者個人が被保険者となっており、貴院で保険料を負担した賠償責任保険の保険料について職種別にご記入下さい。

注：従事者が個人的に加入しているものについては除いて下さい。

《 記 入 欄 》

【問1：貴院が被保険者となっているもの】

貴院が被保険者となっているもの	円/年
-----------------	-----

【問2：従事者個人が被保険者となっているもの】

	職種	加入人数	年間合計保険料
	従事者個人が被保険者とな っているもの	医師	人
歯科医師		人	円/年
薬剤師		人	円/年
看護師		人	円/年
その他職員		人	円/年

17. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（1：感染性廃棄物）

注：感染性廃棄物とは、医療関係機関等から発生し、人が感染し、又は感染するおそれのある病原体（感染性病原体）が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物を指します。

- 感染性産業廃棄物の具体例：①血液、血清、血漿、体液（精液を含む）、血液製剤 ②注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラスくず等 ③実験、検査等に使用した試験管、シャーレ等 ④血液等が付着した実験・手術用の手袋等 ⑤汚染物が付着した廃プラスチック類等
- 感染性一般廃棄物の具体例：①臓器、組織 ②試験、検査等に使用した培地、実験動物の死体等 ③血液等が付着した紙くず、繊維くず ④汚染物が付着した紙くず、繊維くず

- 問1：2004年度に使用していた感染性器具使用後の廃棄容器について①およその年間費用、②算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。
- 問2：2004年度における感染性産業廃棄物の保管について、廃棄物保管庫導入にすることとして①保管庫の導入費用、②導入年、③保管庫占有面積を、またその他産業廃棄物保管に要する材料についての④年間費用、⑤算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（廃棄物保管に要するその他材料の例：ハザードマークシートの購入）
- 問3：2004年度に使用していた感染性産業廃棄物処理施設（院内で所有している場合）の①処理施設導入費用、②導入年、③処理施設の占有面積、④稼働費用、⑤維持費用をお答えください。また、感染性産業廃棄物処理を外部に委託している場合は⑥廃棄物処理委託費用を記入欄に記入して下さい。
- 問4：問1～3で回答した以外で2004年度における感染性産業廃棄物処理・保管に要する費用について、①費用項目、②およその年間費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

【問1：感染性器具の廃棄容器（2004年度）】

①年間費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）

【問2：感染性廃棄物保管（2004年度）】

廃棄物の保管庫導入			廃棄物保管に要するその他材料	
①保管庫導入費用[千円/年]	②導入年	③保管庫占有面積[m <sup>2</sup> ]	④年間費用[千円/年]	⑤算出の根拠（量・単価等）

【問3：感染性廃棄物処理施設・処理委託費用（2004年度）】

廃棄物処理施設（院内で所有している場合）					⑥廃棄物処理委託費用[千円/年]
①処理施設導入費用[千円/年]	②導入年	③処理施設占有面積[m <sup>2</sup> ]	④稼働費用[千円/年]	⑤維持費用[千円/年]	

【問4：その他廃棄物処理・保管に要する費用（賠償責任保険等）（2004年度）】

	①費用項目	②費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）
1			
2			
3			

17. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（2：非感染性産業廃棄物）

注：非感染性産業廃棄物とは、医療関係機関等の医療行為等に伴って排出される産業廃棄物のうち、感染性廃棄物以外のもの、すなわち「感染性産業廃棄物を除く特別管理産業廃棄物」および「その他の産業廃棄物」を指します。また、院内で感染性を失わせる処理（焼却・溶融・オートクレーブ・乾熱滅菌・薬剤または加熱など）を行った感染性廃棄物も非感染性産業廃棄物に含みます。

- 問1：2004年度における非感染性産業廃棄物の保管について、廃棄物保管庫導入にすることとして①保管庫の導入費用、②導入年、③保管庫占有面積を、またその他非感染性産業廃棄物保管に要する材料についての④年間費用、⑤算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（廃棄物保管に要するその他材料の例：非感染性廃棄物ラベルの購入）
- 問2：2004年度に使用していた非感染性産業廃棄物の処理について、①収集運搬業者への委託費用、②処分業者への委託費用を記入欄に記入して下さい。

- 問3：問1～3で回答した以外で2004年度における非感染性産業廃棄物の処理・保管に要する費用について、①費用項目、②およその年間費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。
- （例：賠償責任保険等）

《 記 入 欄 》

【問1：産業廃棄物（非感染性）保管（2004年度）】

廃棄物の保管庫導入			廃棄物保管に要するその他材料	
①保管庫導入費用[千円/年]	②導入年	③保管庫占有面積[m <sup>2</sup> ]	④年間費用[千円/年]	⑤算出の根拠（量・単価等）

【問2：産業廃棄物（非感染性）処理委託費用（2004年度）】

①収集運搬業者への委託費用 [千円/年]	②処分業者への委託費用[千円/年]

【問3：その他産業廃棄物（非感染性）処理・保管に要する費用（賠償責任保険等）（2004年度）】

	①費用項目	②費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）
1			
2			
3			

18. 安全管理に係る確認作業等に要する活動状況について

問1：現在実施している安全管理のための医療者間、医療者・患者間の確認作業について①活動内容、②実施回数、各活動に要する時間等（算出の根拠）、③開始年度について記入欄の②に記入して下さい。（例：患者誤認防止、医薬品等の誤認防止、調剤の確認、手術部位誤認防止）

問2：現在実施している安全管理のための診療行為前の説明と同意を得る活動について①説明と同意が必要な診療行為、②説明と同意の実施回数、所要時間（算出の根拠：各診療行為数等）、③開始年度について記入欄に記入して下さい。（例：手術、輸血・血液製剤投与、造影剤使用、心臓カテーテル等）

《 記入欄 》

【問1：安全管理のための医療者間、医療者・患者間の確認作業】

	①活動内容	②確認作業の実施回数、各活動に要する時間（算出の根拠）	③開始年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

【問2：診療行為前の説明と同意】

	①説明と同意が必要な診療行為	②説明と同意の実施回数、所要時間（算出の根拠）	③開始年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

19. 安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携について

問：他の病院・診療所等の医療機関や保険薬局・訪問看護ステーション等との機能連携（病棟連携・病診連携・薬業連携等）のうち、安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携に関して①実施内容（他の病院・診療所等の医療機関や保険薬局・訪問看護ステーションとの間で、当該患者について必要な診療情報を文書などにより相互に共有化する等）②実施回数 ③所要時間 ④連携先を記入して下さい。

《 記入欄 》

【安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携】

問	①実施内容	②実施回数/月	③所要時間/回	④連携先
1		回	分	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

20. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るその他の活動の取組状況について

問：これまでの1～19の分類に該当しないものの、現在実施している安全管理や感染制御、医薬品安全使用のための諸活動の状況について①活動内容、②件数、頻度、所要時間（算出の根拠）について記入欄に記入して下さい。（例：警備体制の強化、医療用ガスボンベの点検等）

《 記 入 欄 》

	①現在実施している その他の活動内容	②実施件数、各活動に要する時間（算出の根拠）
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

医療安全に関するコスト調査（一般診療所・有床票）

【基本情報】

調査用整理番号		平成16年度				平成17年度			
項 目		許可病床		稼働病床		許可病床		稼働病床	
病床の状況 ※各年度の6月30日現在	1. 一般病床	床		床		床		床	
	2. 療養病床	床		床		床		床	
	[再掲]指定介護療養型施設	床		床		床		床	
入院患者の状況 ※在院患者数以外は各年度6月の1か月間	1. 在院患者数 ※6月30日現在			人				人	
	2. 在院患者延べ数	延べ		人		延べ		人	
	3. 新規入院患者数			人				人	
	4. 退院患者数			人				人	
外来患者の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 初診患者数			人				人	
	2. 再診患者延べ数	延べ		人		延べ		人	
処方の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 院外処方(処方せん料)			回				回	
	2. 院内処方(処方料)			回				回	
職員の状況 (常勤換算) ※各年度の6月30日現在	1. 医師			人				人	
	2. 歯科医師			人				人	
	3. 薬剤師			人				人	
	4. 看護職員			人				人	
	5. 事務職員			人				人	
	6. その他の職員			人				人	
医業収支 ※平成16年度の1年間	1. 医業収入			千円				千円	
	2. 医業費用			千円				千円	

※平成16年6月30日現在の状況をご記入下さい。

標榜する診療科目（複数回答可） ※該当する番号を○で囲んで下さい。	01 内科	09 心療内科	17 呼吸器外科	25 気管食道科
	02 呼吸器科	10 アレルギー科	18 心臓血管外科	26 皮膚科
	03 消化器科（胃腸科）	11 リウマチ科	19 小児外科	27 泌尿器科
	04 循環器科	12 外科	20 産婦人科	28 性病科
	05 小児科	13 整形外科	21 産科	29 こう門科
	06 精神科	14 形成外科	22 婦人科	30 リハビリテーション科
	07 神経科	15 美容外科	23 眼科	31 放射線科
	08 神経内科	16 脳神経外科	24 耳鼻咽喉科	32 麻酔科

※平成16年6月30日現在の状況をご記入下さい。

主たる診療科目の番号をご記入下さい。	
--------------------	--

医療安全に関するコスト調査（一般診療所・無床票）

【基本情報】

調査用整理番号			
項 目		平成16年度	平成17年度
外来患者の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 初診患者数	人	人
	2. 再診患者延べ数	延べ	延べ
処方状況 ※各年度6月の1か月間	1. 院外処方(処方せん料)	回	回
	2. 院内処方(処方料)	回	回
職員の状況 (常勤換算) ※各年度の6月30日現在	1. 医師	人	人
	2. 歯科医師	人	人
	3. 薬剤師	人	人
	4. 看護職員	人	人
	5. 事務職員	人	人
	6. その他の職員	人	人
医業収支 ※平成16年度の1年間	1. 医業収入	千円	
	2. 医業費用	千円	

※平成16年6月30日現在の状況をご記入下さい。

標榜する診療科目（複数回答可） ※該当する番号を○で囲んで下さい。	01 内科	09 心療内科	17 呼吸器外科	25 気管食道科
	02 呼吸器科	10 アレルギー科	18 心臓血管外科	26 皮膚科
	03 消化器科（胃腸科）	11 リウマチ科	19 小児外科	27 泌尿器科
	04 循環器科	12 外科	20 産婦人科	28 性病科
	05 小児科	13 整形外科	21 産科	29 こう門科
	06 精神科	14 形成外科	22 婦人科	30 リハビリテーション科
	07 神経科	15 美容外科	23 眼科	31 放射線科
	08 神経内科	16 脳神経外科	24 耳鼻咽喉科	32 麻酔科

※平成16年6月30日現在の状況をご記入下さい。

主たる診療科目の番号をご記入下さい。	
--------------------	--

安全管理に係る取り組みの全体的な状況について（※ 以下、有床票と無床票で共通）

以下の取り組みのうち、貴診療所で取り組まれているものは番号に○をつけ、その取り組み内容の詳細について「詳細記入欄」に示すページの設問にご回答下さい。

取り組み内容	番号	⇒	詳細記入欄	取り組み内容	番号	⇒	詳細記入欄
安全管理に係る責任者や担当者の配置	1	⇒	p.30「1. 安全管理に係る人員配置状況について」	臨床工学技師による医療機器の管理 (透析機器、人工心肺、輸液ポンプ等)	10	⇒	p.41「10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（1：医療機器）」
安全管理のための会合や検討・改善活動の実施（院内研修、内部レビュー・ラウンドを含む）	2	⇒	p.31「2. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る会合や検討・改善活動の取組状況について」	薬剤師による医薬品・血液製剤の管理	10	⇒	p.42「10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（2：医薬品・血液製剤）」
安全管理に係る器材・機器・設備等の導入	3	⇒	p.32「3. 安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について」	医療事故発生に備えた賠償責任保険への加入	11	⇒	p.43「11. 事故発生に係る対応について」
感染制御に係る器材・機器・設備等の導入	4	⇒	p.34「4. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について」	感染性廃棄物の処理・保管の実施	12	⇒	p.44「12. 感染性廃棄物処理・保管に係る取組状況について（1：感染性廃棄物）」
職員のための職業感染防止対策の実施	5	⇒	p.36「5. 職業感染防止対策について」	非感染性産業廃棄物の処理・保管の実施	12	⇒	p.45「12. 感染性廃棄物処理・保管に係る取組状況について（2：非感染性産業廃棄物）」
安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院外研修・活動への参加（学会参加を含む）	6	⇒	p.37「6. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院外研修・活動の取組状況について」	安全管理のための確認作業等の実施 (医療者間、医療者・患者間の確認作業、診療行為前の説明と同意)	13	⇒	p.46「13. 安全管理に係る確認作業等に要する活動状況について」
医療安全の向上のためのインシデントレポートの作成・分析等	7	⇒	p.38「7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について」	安全管理に係る機能連携	14	⇒	p.47「14. 安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携について」
安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成	8	⇒	p.39「8. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成状況について」	その他の安全管理のための取組	15	⇒	p.48「15. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るその他の活動の取組状況について」
外部評価の受審 (ISO9001、BS7799等)	9	⇒	p.40「9. 外部評価の受審状況について」				

1. 安全管理に係る人員配置状況について

問1：安全管理に係る責任者、担当者の職名を、専任、兼任にかかわらず全て記入欄の①に記入して下さい。  
(例：安全管理責任者、医療安全推進担当者、リスクマネージャー、安全管理担当者、安全管理推進者等)

問2：①に記入した職名に任命されている人の②職種、③経過年数を選んで下さい。

問3：④には①に記入した担当者の全活動時間のうち、安全管理に係る取組の活動時間の割合を2004年6月の活動時間に基づいて記入して下さい。

(1週間毎日安全管理に係る活動している場合は100%、1週間の内1日だけ活動している場合は20%、半日だけ活動している場合は10%と考えたと把握しやすいです)

《 記 入 欄 》

	①安全推進者の職名	②職種（該当するものに○を記入）	③経過年数	④安全管理活動割合 [%]
1		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
2		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
3		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
4		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
5		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
6		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
7		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
8		医師・歯科医師・薬剤師・看護師 医療技術員・事務管理系・技能労務員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	

2. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る会合や検討・改善活動の取組状況について

問1: 2004年度に開催した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての会合や検討・改善活動の種類を記入欄の①に記入して下さい。会合名と内容が分かるようにご記入下さい。(例: 安全管理部門での定例会議、医薬品安全使用に係る委員会、感染制御について時間を設けている各種会合等)

注: 院内研修、内部レビュー・ラウンド、感染症サーベイランスもあわせてご記入ください。ただし、インシデントレポートの作成と分析はp.38の「7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について」でご記入いただきますので除いてください。

問2: ①に記入した会合や検討・改善活動について、②職種別参加人数、③1回当りの開催時間と年間開催回数を記入欄に記入して下さい。

注: 会議などの準備に特に時間や人手がかかった場合があれば、それも行を変えてご記入ください。

《 記 入 欄 》

	① 2004年度に開催した 会合や検討・改善活動の種類 (会合名・内容)	②職種別参加人数 (委員・事務局スタッフ含む)												③所要時間			
		医師		歯科医師		薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等		1回当り 開催時間 [時間]	年間 開催回数
		経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]	経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]	経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]	経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]	経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]	経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]	経年 10年未満 [人]	経年 10年以上 [人]		
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

3. 安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問: 現在使用している安全の維持・向上への貢献が期待できる全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②導入年度、③導入時点の状況、④調達方法、⑤購入額・賃借額、⑥算出の根拠(量・単価等)、⑦法定耐用年数、⑧利用予定年数を記入欄に記入して下さい。

(例: リストバンド、看護支援携帯端末、警報装置、転落防止器具、衝撃吸収床材、職員ワッペン、オーダーエントリーシステム、その他の関連する情報機器・設備等)

注: ・感染制御に関連する器材等については、p.34の「4. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について」にご記入下さい。

・安全の維持・向上に対しても貢献が期待できるオーダーエントリーシステム、電子カルテ等のIT設備は、安全部分に相当する費用を算出するのは困難であるため、導入・維持・保守に要した費用の全額を記入して下さい。なお、その際医療機器は除いて下さい。  
・消耗品の利用予定年数は「0」と記入して下さい。

《 記 入 欄 》

	①現在使用している安全管理に係る器材・機器・設備	② 導入年度	③ 導入時点の状況	④ 調達方法	⑤ 購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥ 算出根拠 (量、単価等)	⑦ 法定耐用年数	⑧ 利用予定年数
1			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
5			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
6			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
7			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
8			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
9			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
10			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
11			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
12			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
13			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
14			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
15			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

	①現在使用している安全管理に係る器材・機器・設備	②導入年度	③導入時点の状況 □新規 □更新・追加	④調達方法 □購入 □リース・賃借	⑤購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥算出根拠(量、単価等)	⑦法定耐用年数	⑧利用予定年数
16			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
17			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
18			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
19			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
20			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
21			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
22			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
23			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
24			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
25			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
26			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
27			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
28			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
29			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
30			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
31			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
32			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
33			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
34			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
35			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				

## 4. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問: 現在使用している感染を予防するための全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②導入年度、③導入時点の状況、④調達方法、⑤購入額・賃借額、⑥算出の根拠(量・単価等)、⑦法定耐用年数、⑧利用予定年数を記入欄に記入して下さい。  
(例: 消毒・洗浄剤、ハンドローション、グローブ、マスク、ガウン、手洗い機器、抗菌カテテル、針刺し防止用注射器、抗菌床材、陰圧隔離室等)

注: 職業感染防止のための各種ワゴン、抗体検査、ツ反等の実施状況についてはp.36の「5. 職業感染防止対策について」でご回答ください。

注: ディスポーザブル用品や消耗材の利用予定年数は「0」と記入して下さい。

## 《 記入欄 》

	①現在使用している感染制御に係る器材・機器・設備	②導入年度	③導入時点の状況 □新規 □更新・追加	④調達方法 □購入 □リース・賃借	⑤購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥算出根拠(量、単価等)	⑦法定耐用年数	⑧利用予定年数
1			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
2			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
3			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
4			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
5			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
6			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
7			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
8			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
9			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
10			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
11			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
12			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
13			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
14			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				
15			□新規 □更新・追加	□購入 □リース・賃借				



《 記入欄 》

	①現在使用していた感染制御に係る 器材・機器・設備	② 導入年度	③ 導入時点の状況	④ 調達方法	⑤ 購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥ 算出根拠(量、単価等)	⑦ 法定耐用 年数	⑧ 利用予定 年数
16			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
17			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
18			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
19			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
20			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
21			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
22			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
23			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
24			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
25			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
26			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
27			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
28			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
29			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
30			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
31			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
32			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
33			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
34			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
35			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

5. 職業感染防止対策について

問: 2004年度に実施した職業感染防止のための各種ワゾン、抗体検査、ツ反等の実施状況について①実施内容、②概算費用、③算出の根拠(量・単価等)を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

	①2004年度に実施した職業感染防止対策の取り組み内容	②概算費用[千円]	③算出の根拠(量・単価等)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

6. 安全管理、感染制御、医薬品医薬使用に係る院外研修・活動の取組状況について

問：2004年度に参加した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院外研修・活動について、①取組事例、②職種別参加者数、③移動時間と参加時間を合わせた参加者1人あたりの平均所要時間、④交通費・宿泊費と研修費を記入欄に記入して下さい。

注：学会への参加も対象となります。また、講師として講演に行かれた場合も記入して下さい。

注：所要時間は、1日を8時間、半日を4時間と換算して下さい。宿泊みの参加の場合も1日は8時間と計算して下さい。

《 記入欄 》

	①2004年度に参加した 院外研修 (名称・内容)	②各院外研修の参加者数												③ 所要時間 [時間]	④諸経費			
		医師		歯科医師		薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等		交通費 宿泊費 [千円]	研修費 [千円]
		経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]		経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]		
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について

問1：2004年度のインシデントレポート等の作成について、①レポートの種類、②2004年度のレポート総件数とそのうち医薬品安全使用に係るレポート件数、③職種別内訳件数、④1件当たり所要時間（当事者の記入、所属長の確認、データベースへの入力）を記入欄に記入して下さい。なお、④の1件当たりの所要時間は平均的な値について概算を記入して下さい。（レポートの種類：インシデントレポート、アクシデントレポート、ヒヤリハットレポート等）

問2：2004年度のインシデントレポートの分析や改善策立案等について、①取組事例、②職種別実施担当者数、③所要時間（1回当たり所要時間と年間実施回数）、④開始年度を記入して下さい。（例：根本原因分析、分析ソフトを用いた解析、改善策立案検討のための会合等）

問3：2004年度にインシデントレポートの作成・分析等の活動を実施するに当たり必要となる設備・器材について①項目、②数量と費用等について記入欄に記入して下さい。なお、IT設備に係るものはp.32の「3.安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について」に記入をお願いいたします。（例：コンピュータ、分析用ソフトウェア、複写・印刷物、消耗品等）

《 記入欄 》

【問1：インシデントレポートの作成（2004年度）】

	①2004年度に作成した インシデントレポートの種類 (名称・内容)	②2004年度レポート件数		③左記(②)の内、職種別レポート内訳件数[再掲]							④1件当たり所要時間		
		総件数	左記の内医薬品に係る件数 [再掲]	医師 [件]	歯科医師 [件]	薬剤師 [件]	看護師 [件]	医療技術員 [件]	事務管理系 [件]	技能労務員等 [件]	当事者記入 [分]	所属長確認 [分]	データベース入力[分]
1													
2													
3													

【問2：インシデントレポートの分析・改善策立案等（2004年度）】

	① 2004年度に実施したインシデントレポートの分析・改善策立案のための 取組事例	②実施担当者												③所要時間		④ 開始年度		
		医師		歯科医師		薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系		技能労務員等			1回当たり 所要時間 [時間]	年間 実施回数
		経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]					
1																		
2																		
3																		

【問3：インシデントレポートの作成・分析等の活動に要した設備・器材（2004年度）】

①項目	②量、費用等（算出の根拠）
1	
2	
3	

8. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成状況について

問：現在使用している安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院内共通マニュアル・手順書について、①マニュアル・手順書の種類、②作成した職種別担当者数、③作業の1人あたり平均所要時間、④新規作成年度と最近の改訂年度、⑤マニュアル・手順書作成に要した諸経費（印刷経費、資料費等）を記入欄に記入して下さい。  
注：ME部門や薬剤師門等が中心となり作成されたマニュアル・手順書等についても記入して下さい。

《 記入欄 》

	①現在使用している マニュアル・手順書の種類 (名称・内容)	②各マニュアル・手順書作成の担当者数												③ 1人あたり 平均所要 時間 [時間]	④作成年度		⑤ 諸経費 [千円]		
		医師		歯科医師		薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等			新規作 成年度	最近の 改訂間 隔[年]
		経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]		経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			

9. 外部評価（ISO9001、BS7799等による認定・監査）の受審状況について

問1：1999年度以降に新規で受審した全ての外部評価の中で、医療安全・感染制御・医薬品安全使用に関連するものについて、①外部評価の名称、②受審年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用（外部コンサルタントへの委託費用を含む）を記入欄に記入して下さい。

問2：1999年度以降に更新した外部評価の中で、医療安全・感染制御・医薬品に関連するものについて、①外部評価の名称、②更新年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用（外部コンサルタントへの委託費用を含む）を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

【問1：1999年度以降に新規取得した外部評価】

	① 1999年度以降に新規受審 した外部評価	② 受審年度	③審査の準備を行った担当者数												④ 1人あたり 平均所要 時間 [時間]	⑤その他経費			
			医師		歯科医師		薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等		受審 費用 [千円]	情報収 集費用 [千円]
			経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]					
1																			
2																			
3																			
4																			

【問2：1999年度以降に更新した外部評価】

	① 1999年度以降に更新した 外部評価	② 更新年度	③審査の準備を行った担当者数												④ 1人あたり 平均所要 時間 [時間]	⑤その他経費			
			医師		歯科医師		薬剤師		看護師		医療技術員		事務管理系			技能労務員等		受審 費用 [千円]	情報収 集費用 [千円]
			経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]	経年数 10年未満 [人]	経年数 10年以上 [人]					
1																			
2																			
3																			
4																			

10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（1：医療機器）

問1：2004年度の臨床工学技師の活動状況について、①臨床工学技師の人数（常勤換算）、②全臨床工学技師の総活動時間における活動時間の内訳をご記入ください。また、医療機器の管理について、③一元管理の有無、④設置台数・種類、⑤メンテナンス契約付き機器の導入台数とメンテナンス部分の追加費用について2004年度の状況についてそれぞれ記入欄に記入して下さい。なお、メンテナンス部分の追加費用は、メンテナンス契約付き機器の単価と契約のない機器の単価との差額により概算で構いませんので記入して頂きますと幸いです。

問2：2004年度における医療機器の安全管理に係る活動や設備利用の状況について、①活動内容・設備名称、②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠となるもの）、③開始・導入年度について記入欄に記入して下さい。  
 (活動例：院内巡回) (設備導入例：輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器等の解析装置等)

《 記入欄 》

問1：臨床工学技師の活動状況

2004年度の状況		③ 一元管理の有無	④保有状況		⑤メンテナンス契約付き機器	
			台数	種類	台数	メンテナンス 部分追加費用 [千円]
①臨床工学技師の人数[常勤換算]		輸液ポンプ	有・無			
②活動 割合	透析機器の管理[％]	シリンジポンプ	有・無			
	人工心肺の管理[％]	人工呼吸器	有・無			
	その他医療機器の管理[％]	その他 ( )	有・無			
	その他[％] ( )	その他 ( )	有・無			

問2：医療機器の安全管理に係る活動・設備利用の状況（2004年度）

	①活動内容・利用設備	②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠）	③開始・導入年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（2：医薬品・血液製剤）

問1：2004年度の医薬品・血液製剤の管理体制について、①薬剤師（常勤換算）の経験年齢別人数、③全薬剤師の総活動時間における活動時間の内訳、④調剤・調整業務における活動時間の内訳について、それぞれ記入欄に記入して下さい。なお、④の「調剤・調整」の中の注射薬のミキシングは調剤・調整業務における割合を、無菌調製は注射薬のミキシングにおける割合を記入して下さい。割合の内訳の記入は概算で構いません。

問2：2004年度における医薬品・血液製剤の管理に係る活動や設備利用の状況について、①活動内容・設備名称、②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠となるもの）、③開始・導入年度について記入欄に記入して下さい。  
 (活動例：特定生物由来製品に係る保管・管理活動、麻薬・劇薬等特に管理が必要な薬剤に係る保管・管理活動、レジメンチェック、抗生物質の使用状況調査と感染起因菌の分析等)  
 (設備導入例：分包機、クリーンルーム、クリーンベンチ、血液製剤の保冷庫・冷凍庫・溶解用恒温槽等)

《 記入欄 》

問1：医薬品・血液製剤等に関する活動状況（2004年度）

	①薬剤師人数（常勤換算）		②活動割合[％]（合計で100%になるよう概算で記入して下さい）				
	経験年数 10未満[人]	経験年数 10年以上[人]	調剤・調整	薬剤購入・保 管・管理	薬歴管理・服 薬指導	DI業務・医療 者への指導	その他
薬剤師							

④調剤・調整業務における活動割合[％]（合計で100%になるよう概算で記入して下さい）							
調剤・調整	注射薬のミ キシング[再 掲]	無菌調製 [再掲]	内服薬の 一回量調剤 [再掲]	抗がん剤の調 剤[再掲]	レジメン チェック [再掲]	薬歴チェック [再掲]	無菌調剤 [再掲]

問2：医薬品・血液製剤の管理に係る活動・設備利用の状況（2004年度）

	①活動内容・利用設備	②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠）	③開始・導入年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

11. 賠償責任保険について

問1：2004年度に貴診療所が被保険者となって負担した賠償責任保険の保険料についてご記入下さい。

注：院内で発生した医療行為に起因する医療事故だけでなく、医療施設に起因する医療事故も含めてご記入下さい。

問2：2004年度に貴診療所に勤務する従事者個人が被保険者となり、貴診療所で保険料を負担した賠償責任保険の保険料について職種別にご記入下さい。

注：従事者が個人的に加入しているものについては除いて下さい。

《 記入欄 》

【問1：貴診療所が被保険者となっているもの】

貴診療所が被保険者となっているもの	円/年
-------------------	-----

【問2：従事者個人が被保険者となっているもの】

	職種	加入人数	年間合計保険料
	従事者個人が被保険者となっているもの	医師	人
歯科医師		人	円/年
薬剤師		人	円/年
看護師		人	円/年
その他職員		人	円/年

12. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（1：感染性廃棄物）

注：感染性廃棄物とは、医療関係機関等から発生し、人が感染し、又は感染するおそれのある病原体（感染性病原体）が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物を指します。

- 感染性産業廃棄物の具体例：①血液、血清、血漿、体液（精液を含む。）、血液製剤 ②注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラスくず等 ③実験、検査等に使用した試験管、シャーレ等 ④血液等が付着した実験・手術用の手袋等 ⑤汚染物が付着した廃プラスチック類等
- 感染性一般廃棄物の具体例：①臓器、組織 ②試験、検査等に使用した培地、実験動

問1：2004年度に使用していた感染性器具使用後の廃棄容器について①およびその年間費用、②算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。

問2：2004年度における感染性産業廃棄物の保管について、廃棄物保管庫導入に關することとして①保管庫の導入費用、②導入年、③保管庫占有面積を、またその他産業廃棄物保管に要する材料についての④年間費用、⑤算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（廃棄物保管に要するその他材料の例：ハザードマークシートの購入）

問3：2004年度に使用していた感染性産業廃棄物処理施設（院内で所有している場合）の①処理施設導入費用、②導入年、③処理施設の占有面積、④稼働費用、⑤維持費用をお答えください。また、感染性産業廃棄物処理を外部に委託している場合は⑥廃棄物処理委託費用を記入欄に記入して下さい。

問4：問1～3で回答した以外で2004年度における感染性産業廃棄物処理・保管に要する費用について、①費用項目、②およびその年間費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

【問1：感染性器具の廃棄容器（2004年度）】

①年間費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）

【問2：感染性廃棄物保管（2004年度）】

廃棄物の保管庫導入			廃棄物保管に要するその他材料	
①保管庫導入費用[千円/年]	②導入年	③保管庫占有面積[m <sup>2</sup> ]	④年間費用[千円/年]	⑤算出の根拠（量・単価等）

【問3：感染性廃棄物処理施設・処理委託費用（2004年度）】

廃棄物処理施設（院内で所有している場合）					⑥廃棄物処理委託費用[千円/年]
①処理施設導入費用[千円/年]	②導入年	③処理施設占有面積[m <sup>2</sup> ]	④稼働費用[千円/年]	⑤維持費用[千円/年]	

【問4：その他廃棄物処理・保管に要する費用（賠償責任保険等）（2004年度）】

	①費用項目	②費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）
1			
2			
3			

12. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（2：非感染性産業廃棄物）

注：非感染性産業廃棄物とは、医療関係機関等の医療行為等に伴って排出される産業廃棄物のうち、感染性廃棄物以外のもの、すなわち「感染性産業廃棄物を除く特別管理産業廃棄物」および「その他の産業廃棄物」を指します。また、院内で感染性を失わせる処理（焼却・溶融・オートクレーブ・乾熱滅菌・薬剤または加熱など）を行った感染性廃棄物も非感染性産業廃棄物に含まれます。

問1：2004年度における非感染性産業廃棄物の保管について、廃棄物保管庫導入に関する①保管庫の導入費用、②導入年、③保管庫占有面積を、またその他非感染性産業廃棄物保管に要する材料についての④年間費用、⑤算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（廃棄物保管に要するその他材料の例：非感染性廃棄物ラベルの購入）

問2：2004年度に使用していた非感染性産業廃棄物の処理について、①収集運搬業者への委託費用、②処分業者への委託費用を記入欄に記入して下さい。

問3：問1～3で回答した以外で2004年度における非感染性産業廃棄物の処理・保管に要する費用について、①費用項目、②およその年間費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。  
（例：賠償責任保険等）

《 記 入 欄 》

【問1：産業廃棄物（非感染性）保管（2004年度）】

廃棄物の保管庫導入			廃棄物保管に要するその他材料	
①保管庫導入費用[千円/年]	②導入年	③保管庫占有面積[m <sup>2</sup> ]	④年間費用[千円/年]	⑤算出の根拠（量・単価等）

【問2：産業廃棄物（非感染性）処理委託費用（2004年度）】

①収集運搬業者への委託費用 [千円/年]	②処分業者への委託費用 [千円/年]

【問3：その他産業廃棄物（非感染性）処理・保管に要する費用（賠償責任保険等）（2004年度）】

	①費用項目	②費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）
1			
2			
3			

13. 安全管理に係る確認作業等に要する活動状況について

問1：現在実施している安全管理のための医療者間、医療者・患者間の確認作業について①活動内容、②実施件数、各活動に要する時間等（算出の根拠）、③開始年度について記入欄の②に記入して下さい。（例：患者誤認防止、医薬品等の誤認防止、調剤の確認、手術部位誤認防止）

問2：現在実施している安全管理のための診療行為前の説明と同意を得る活動について①説明と同意が必要な診療行為、②説明と同意の実施件数、所要時間（算出の根拠：各診療行為数等）、③開始年度について記入欄に記入して下さい。（例：手術、輸血・血液製剤投与、造影剤使用、臓器移植等）

《 記 入 欄 》

【問1：安全管理のための医療者間、医療者・患者間の確認作業】

	①活動内容	②確認作業の実施件数、各活動に要する時間（算出の根拠）	③開始年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

【問2：診療行為前の説明と同意】

	①説明と同意が必要な診療行為	②説明と同意の実施件数、所要時間（算出の根拠）	③開始年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

14. 安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携について

問：他の病院・診療所等の医療機関や保険薬局・訪問看護ステーション等との機能連携（診診連携・病診連携・薬薬連携等）のうち、安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携に関して ①実施内容（他の病院・診療所等の医療機関や保険薬局・訪問看護ステーションとの間で、当該患者について必要な診療情報を文書などにより相互に共有化する等）②実施回数 ③所要時間 ④連携先を記入してください。

《 記入欄 》

【安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携】

問	①実施内容	②実施回数/月	③所要時間/回	④連携先
1		回	分	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

15. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るその他の活動の取組状況について

問：これまでの1～14の分類に該当しないもの、現在実施している安全管理や感染制御、医薬品安全使用のための諸活動の状況について①活動内容、②件数、頻度、所要時間（算出の根拠）について記入欄に記入して下さい。（例：警備体制の強化、医療用ガスボンベの点検等）

《 記入欄 》

	①現在実施している その他の活動内容	②実施件数、各活動に要する時間（算出の根拠）
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

医療安全に関するコスト調査（歯科診療所票）

【基本情報】

調査用整理番号			
項目		平成16年度	平成17年度
外来患者の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 初診患者数	人	人
	(うち)かかりつけ歯科医初診料算定	(うち)	(うち)
処方状況 ※各年度6月の1か月間	2. 再診患者延べ数	延べ	延べ
	1. 院外処方(処方せん料)	回	回
職員の状況 (常勤換算) ※各年度の6月30日現在	2. 院内処方(処方料)	回	回
	1. 歯科医師	人	人
	2. 歯科衛生士	人	人
	3. 歯科技工士	人	人
	4. 事務職員	人	人
医業収支 ※平成16年度の1年間	5. その他の職員	人	人
	1. 医業収入	千円	
	2. 医業費用	千円	

※平成16年6月30日現在の状況をご記入下さい。

標榜する診療科目	1. 歯科 2. 矯正歯科	3. 小児歯科 4. 歯科口腔外科
歯科口腔外科の実施状況	1. 抜歯・歯周外科手術等 2. 骨折・顎骨腫瘍手術等	3. 口腔外科はしていない
歯科技工室の状況	1. 歯科技工室がある 2. ない	
技工物の外注状況	1. 全部外注 2. 一部外注	3. 外注していない
感染性廃棄物処理の委託状況	1. 全部委託 2. 一部委託	3. 委託していない

安全管理に係る取り組みの全体的な状況について

以下の取り組みのうち、貴診療所で取り組まれているものは番号に○をつけ、その取り組み内容の詳細について「詳細記入欄」に示すページの設定にご回答下さい。

取り組み内容	番号	詳細記入欄	取り組み内容	番号	詳細記入欄
安全管理に係る責任者や担当者の配置	1	⇒ p.51「1. 安全管理に係る人員配置状況について」	医療機器の管理	10	⇒ p.62「10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（1：医療機器）」
安全管理のための会合や検討・改善活動の実施（院内研修、内部レビュー・ラウンドを含む）	2	⇒ p.52「2. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る会合や検討・改善活動の取組状況について」	医薬品の管理のための活動	10	⇒ p.63「10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（2：医薬品）」
安全管理に係る器材・機器・設備等の導入	3	⇒ p.53「3. 安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について」	医療事故発生に備えた賠償責任保険への加入	11	⇒ p.64「11. 事故発生に係る対応について」
感染制御に係る器材・機器・設備等の導入	4	⇒ p.55「4. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について」	感染性廃棄物の処理・保管の実施	12	⇒ p.65「12. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（1：感染性廃棄物）」
職員のための職業感染防止対策の実施	5	⇒ p.57「5. 職業感染防止対策について」	感染性廃棄物の処理・保管の実施	12	⇒ p.66「12. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（2：非感染性産業廃棄物）」
安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院外研修・活動への参加（学会参加を含む）	6	⇒ p.58「6. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る院外研修・活動の取組状況について」	安全管理のための確認作業等の実施（医療者間、医療者・患者間の確認作業、診療行為前の説明と同意）	13	⇒ p.67「13. 安全管理に係る確認作業等に要する活動状況について」
医療安全の向上のためのインシデントレポートの作成・分析等	7	⇒ p.59「7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について」	安全管理に係る機能連携	14	⇒ p.68「14. 安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携について」
安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成	8	⇒ p.60「8. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成状況について」	その他の安全管理のための取組	15	⇒ p.69「15. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るその他の活動の取組状況について」
外部評価の受審（ISO9001、BS7799等）	9	⇒ p.61「9. 外部評価の受審状況について」			



1. 安全管理に係る人員配置状況について

- 問1: 安全管理に係る責任者、担当者の職名を、専任、兼任にかかわらず全て記入欄の①に記入して下さい。  
 (例: 安全管理責任者、医療安全推進担当者、リスクマネージャー、安全管理担当者、安全管理推進者等)
- 問2: ①に記入した職名に任命されている人の②職種、③経験年数を選んで下さい。
- 問3: ④には①に記入した担当者の全活動時間のうち、安全管理に係る取組の活動時間の割合を2004年6月の活動時間に基づいて記入して下さい。  
 (1週間毎日安全管理に係る活動している場合は100%、1週間の内1日だけ活動している場合は20%、半日だけ活動している場合は10%と考えると把握しやすいです)

《 記入欄 》

	①安全推進者の職名	②職種 (該当するものに○を記入)	③経験年数	④安全管理活動割合 [%]
1		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	12
2		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	13
3		安全管理に係る機能連携	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	14
4		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	15
5		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
6		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
7		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
8		歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務職員・その他職員	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	

2. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る会合や検討・改善活動の取組状況について

- 問1: 2004年度に開催した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての会合や検討・改善活動の種類を記入欄の①に記入して下さい。会合名と内容が分かるようにご記入下さい。(例: 安全管理部門での定例会議、医薬品安全使用に係る委員会、感染制御について時間を設けている各種会合等)
- 注: 院内研修、内部レビュー・ラウンド、感染症サーベイランスもあわせてご記入ください。ただし、インシデントレポートの作成と分析はp.59の「7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について」でご記入いただきますので除いてください。
- 問2: ①に記入した会合や検討・改善活動について、②職種別参加人数、③1回当たりの開催時間と年間開催回数を記入欄に記入して下さい。
- 注: 会議などの準備に特に時間や人手がかかった場合があれば、それも行を変えてご記入ください。

《 記入欄 》

	① 2004年度に開催した 会合や検討・改善活動の種類 (会合名・内容)	②職種別参加人数 (委員・事務局スタッフ含む)										③所要時間	
		歯科医師		歯科衛生士		歯科技工士		事務職員		その他職員		1回当り 開催時間 [時間]	年間 開催回数
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]		
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													

3. 安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問：現在使用している安全の維持・向上への貢献が期待できる全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②導入年度、③導入時点の状況、④調達方法、⑤購入額・賃借額、⑥算出の根拠（量・単価等）、⑦法定耐用年数、⑧利用予定年数を記入欄に記入して下さい。

（例：リストバンド、警報装置、転落防止器具、衝撃吸収床材、職員ワッペン、オーダージェントリシステム、その他の関連する情報機器・設備等）

注：・感染制御に関する器材等については、p.55の「4.感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について」にご記入下さい。

・安全の維持・向上に対しても貢献が期待できるオーダージェントリシステム、電子カルテ等のIT設備は、安全部分に相当する費用を算出するのは困難であるため、導入・維持・保守に要した費用の全額を記入して下さい。なお、その際医療機器は除いて下さい。

・消耗品の利用予定年数は「0」と記入して下さい。

《 記入欄 》

	①現在使用している安全管理に係る器材・機器・設備	②導入年度	③導入時点の状況	④調達方法	⑤購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥算出根拠（量、単価等）	⑦法定耐用年数	⑧利用予定年数
1			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
5			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
6			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
7			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
8			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
9			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
10			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
11			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
12			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
13			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
14			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
15			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

	①現在使用している安全管理に係る器材・機器・設備	②導入年度	③導入時点の状況	④調達方法	⑤購入額[千円] 賃借額[千円/年]	⑥算出根拠（量、単価等）	⑦法定耐用年数	⑧利用予定年数
16			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
17			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
18			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
19			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
20			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
21			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
22			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
23			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
24			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
25			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
26			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
27			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
28			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
29			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
30			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
31			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
32			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
33			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
34			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
35			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

4. 感染制御に係る器材・機器・設備等の導入状況について

問：現在使用している感染を予防するための全ての器材・機器・設備等について①導入項目、②導入年度、③導入時点の状況、④調達方法、⑤購入額・賃借額、⑥算出の根拠（量・単価等）、⑦法定耐用年数、⑧利用予定年数を記入欄に記入して下さい。

（例：消毒・洗浄剤、ハンドローション、グローブ、マスク、ガウン、手洗い機器、抗菌剤、針刺し防止用注射器、抗菌床材等）

注：職業感染防止のための各種リッチ、抗体検査、ツ反等の実施状況についてはp.57の「5. 職業感染防止対策について」でご回答ください。

注：ディスプレイ用品や消耗材の利用予定年数は「0」と記入して下さい。

《 記入欄 》

	①現在使用している感染制御に係る器材・機器・設備	②導入年度	③導入時点の状況	④調達方法	⑤購入額〔千円〕 賃借額〔千円/年〕	⑥算出根拠（量、単価等）	⑦法定耐用年数	⑧利用予定年数
1			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
5			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
6			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
7			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
8			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
9			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
10			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
11			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
12			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
13			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
14			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
15			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

《 記入欄 》

	①2004年度に使用していた感染制御に係る器材・機器・設備	②導入年度	③導入時点の状況	④調達方法	⑤購入額〔千円〕 賃借額〔千円/年〕	⑥算出根拠（量、単価等）	⑦法定耐用年数	⑧利用予定年数
16			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
17			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
18			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
19			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
20			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
21			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
22			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
23			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
24			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
25			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
26			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
27			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
28			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
29			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
30			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
31			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
32			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
33			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
34			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
35			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

5. 職業感染防止対策について

問: 2004年度に実施した職業感染防止のための各種研修、抗体検査、ツ反等の実施状況について①実施内容、②概算費用、③算出の根拠(量・単価等)を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

	①2004年度に実施した職業感染防止対策の取り組み内容	②概算費用[千円]	③算出の根拠(量・単価等)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

6. 安全管理、感染制御に係る院外研修・活動の取組状況について

問: 2004年度に参加した安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院外研修・活動について、①取組事例、②職種別参加者数、③移動時間と参加時間を合わせた参加者1人あたりの平均所要時間、④交通費・宿泊費と研修費を記入欄に記入して下さい。

注: 学会への参加も対象となります。また、講師として講演に行かれた場合も記入して下さい。

注: 所要時間は、1日を8時間、半日を4時間と換算して下さい。宿泊込みの参加の場合も1日は8時間と計算して下さい。

《 記入欄 》

	①2004年度に参加した院外研修 (名称・内容)	②各院外研修の参加者数										③ 所要時間 [時間]	④諸経費	
		歯科医師		歯科衛生士		歯科技工士		事務職員		その他職員			交通費 宿泊費 [千円]	研修費 [千円]
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

7. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について

- 問1：2004年度のインシデントレポート等の作成について、①レポートの種類、②2004年度のレポート総件数とそのうち医薬品安全使用に係るレポート件数、③職種別内訳件数、④1件当たり所要時間（当事者の記入、所属長の確認、データベースへの入力）を記入欄に記入して下さい。なお、④の1件当たりの所要時間は平均的な値について概算を記入して下さい。（レポートの種類：インシデントレポート、アクシデントレポート、ヒヤリハットレポート等）
- 問2：2004年度のインシデントレポートの分析や改善策立案等について、①取組事例、②職種別実施担当者数、③所要時間（1回当たり所要時間と年間実施回数）、④開始年度を記入して下さい。（例：根本原因分析、分析ソフトを用いた解析、改善策立案検討のための会合等）
- 問3：2004年度にインシデントレポートの作成・分析等の活動を実施するに当たり必要となる設備・器材について①項目、②数量と費用等について記入欄に記入して下さい。なお、IT設備に係るものはp.53の「3.安全管理に係る器材・機器・設備等の導入状況について」に記入をお願いします。（例：コンピュータ、分析用ソフトウェア、複写・印刷物、消耗品等）

《 記 入 欄 》

【問1：インシデントレポートの作成（2004年度）】

	①2004年度に作成したインシデントレポートの種類 (名称・内容)	②2004年度レポート件数		③左記(②)の内、職種別レポート内訳件数(再掲)					④1件当たり所要時間		
		総件数	左記の内医薬品に係る件数(再掲)	歯科医師 [件]	歯科衛生士 [件]	歯科技工士 [件]	事務職員 [件]	その他職員 [件]	当事者記入 [分]	所属長確認 [分]	データベース入力[分]
1											
2											
3											

【問2：インシデントレポートの分析・改善策立案等（2004年度）】

	① 2004年度に実施したインシデントレポートの分析・改善策立案のための取組事例	②実施担当者										③所要時間		④ 開始年度
		歯科医師		歯科衛生士		歯科技工士		事務職員		その他職員		1回当たり 所要時間 [時間]	年間 実施回数	
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1														
2														
3														

【問3：インシデントレポートの作成・分析等の活動に要した設備・器材（2004年度）】

	①項目	②量、費用等（算出の根拠）
1		
2		
3		

8. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るマニュアル・手順書の作成状況について

- 問：現在使用している安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係る全ての院内共通マニュアル・手順書について、①マニュアル・手順書の種類、②作成した職種別担当者数、③作業の1人あたり平均所要時間、④新規作成年度と最近の改訂年度、⑤マニュアル・手順書作成に要した諸経費（印刷経費、資料費等）を記入欄に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

	①現在使用しているマニュアル・手順書の種類 (名称・内容)	②各マニュアル・手順書作成の担当者数										③ 1人あたり 平均所要 時間 [時間]	④作成年度		⑤ 諸経費 [千円]
		歯科医師		歯科衛生士		歯科技工士		事務職員		その他職員			新規作成 年度	最近の改 訂間隔 [年]	
		経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]				
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															

9. 外部評価 (ISO9001、BS7799等による認定・監査)の受審状況について

問1: 1999年度以降に新規で受審した全ての外部評価の中で、医療安全・感染制御・医薬品安全使用に関連するものについて、①外部評価の名称、②受審年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用(外部コンサルタントへの委託費用を含む)を記入欄に記入して下さい。

問2: 1999年度以降に更新した外部評価の中で、医療安全・感染制御・医薬品に関連するものについて、①外部評価の名称、②更新年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用(外部コンサルタントへの委託費用を含む)を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

【問1: 1999年度以降に新規取得した外部評価】

	① 1999年度以降に新規受審した外部評価	② 受審年度	③審査の準備を行った担当者数										④ 1人あたり平均所要時間 [時間]	⑤その他経費	
			歯科医師		歯科衛生士		歯科技工士		事務職員		その他職員			受審費用 [千円]	情報収集費用 [千円]
			経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1															
2															
3															
4															

【問2: 1999年度以降に更新した外部評価】

	① 1999年度以降に更新した外部評価	② 更新年度	③審査の準備を行った担当者数										④ 1人あたり平均所要時間 [時間]	⑤その他経費	
			歯科医師		歯科衛生士		歯科技工士		事務職員		その他職員			受審費用 [千円]	情報収集費用 [千円]
			経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]	経験年数 10年未満 [人]	経験年数 10年以上 [人]			
1															
2															
3															
4															

10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について (1: 医療機器)

問: 2004年度における医療機器の安全管理に係る活動や設備利用の状況について、①活動内容・設備名称、②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等(費用算出の根拠となるもの)、③開始・導入年度について記入欄に記入して下さい。  
(活動例: 院内巡回) (設備導入例: 輸液ポンプ等)

《 記入欄 》

問: 医療機器の安全管理に係る活動・設備利用の状況 (2004年度)

	①活動内容・利用設備	②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等(費用算出の根拠)	③開始・導入年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

10. 医療機器・医薬品等の管理等の取組状況について（2：医薬品）

問：2004年度における医薬品の管理に係る活動や設備利用の状況について、①活動内容・設備名称、②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠となるもの）、③開始・導入年度について記入欄に記入して下さい。  
 （活動例：特定生物由来製品に係る保管・管理活動、麻薬・劇薬等特に管理が必要な薬剤に係る保管・管理活動等）  
 （設備導入例：分包機、クリーンルーム、クリーンベンチ、溶解用恒温槽等）

《 記 入 欄 》

問：医薬品の管理に係る活動・設備利用の状況（2004年度）

	①活動内容・利用設備	②件数や台数・費用・所要時間・調達方法等（費用算出の根拠）	③開始・導入年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

11. 賠償責任保険について

問1：2004年度に貴診療所が被保険者となって負担した賠償責任保険の保険料についてご記入下さい。

注：院内で発生した医療行為に起因する医療事故だけでなく、医療施設に起因する医療事故も含めてご記入下さい。

問2：2004年度に貴診療所に勤務する従事者個人が被保険者となっており、貴診療所で保険料を負担した賠償責任保険の保険料について職種別にご記入下さい。

注：従事者が個人的に加入しているものについては除いて下さい。

《 記 入 欄 》

【問1：貴診療所が被保険者となっているもの】

貴診療所が被保険者となっているもの	円/年
-------------------	-----

【問2：従事者個人が被保険者となっているもの】

従事者個人が被保険者となっているもの	職種	加入人数	年間合計保険料
	歯科医師	人	円/年
その他職員	人	円/年	

1 2. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（1：感染性廃棄物）

注：感染性廃棄物とは、医療関係機関等から発生し、人が感染し、又は感染するおそれのある病原体（感染性病原体）が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物を指します。

- 感染性産業廃棄物の具体例：①血液、血清、血漿、体液（精液を含む。）、血液製剤 ②注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラスくず等 ③実験、検査等に使用した試験管、シャーレ等 ④血液等が付着した実験・手術用の手袋等 ⑤汚染物が付着した廃プラスチック類等
- 感染性一般廃棄物の具体例：①臓器、組織 ②試験、検査等に使用した培地、実験動

- 問1：2004年度に使用していた感染性器具使用後の廃棄容器について①およその年間費用、②算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。
- 問2：2004年度における感染性産業廃棄物の保管について、廃棄物保管庫導入に關することとして①保管庫の導入費用、②導入年、③保管庫占有面積を、またその他産業廃棄物保管に要する材料についての④年間費用、⑤算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（廃棄物保管に要する其他材料の例：ハザードマークシートの購入）
- 問3：2004年度に使用していた感染性産業廃棄物処理施設（院内で所有している場合）の①処理施設導入費用、②導入年、③処理施設の占有面積、④稼働費用、⑤維持費用をお答えください。また、感染性産業廃棄物処理を外部に委託している場合は⑥廃棄物処理委託費用を記入欄に記入して下さい。
- 問4：問1～3で回答した以外で2004年度における感染性産業廃棄物処理・保管に要する費用について、①費用項目、②およその年間費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。

《 記 入 欄 》

【問1：感染性器具の廃棄容器（2004年度）】

①年間費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）

【問2：感染性廃棄物保管（2004年度）】

廃棄物の保管庫導入			廃棄物保管に要する其他材料	
①保管庫導入費用[千円/年]	②導入年	③保管庫占有面積[m <sup>2</sup> ]	④年間費用[千円/年]	⑤算出の根拠（量・単価等）

【問3：感染性廃棄物処理施設・処理委託費用（2004年度）】

廃棄物処理施設（院内で所有している場合）					⑥廃棄物処理委託費用[千円/年]
①処理施設導入費用[千円/年]	②導入年	③処理施設占有面積[m <sup>2</sup> ]	④稼働費用[千円/年]	⑤維持費用[千円/年]	

【問4：其他廃棄物処理・保管に要する費用（賠償責任保険等）（2004年度）】

	①費用項目	②費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）
1			
2			
3			

1 2. 廃棄物処理・保管に係る取組状況について（2：非感染性産業廃棄物）

注：非感染性産業廃棄物とは、医療関係機関等の医療行為等に伴って排出される産業廃棄物のうち、感染性廃棄物以外のもの、すなわち「感染性産業廃棄物を除く特別管理産業廃棄物」および「其他の産業廃棄物」を指します。また、院内で感染性を失わせる処理（焼却・溶融・オートクレーブ・乾熱滅菌・薬剤または加熱など）を行った感染性廃棄物も非感染性産業廃棄物に含みます。

- 問1：2004年度における非感染性産業廃棄物の保管について、廃棄物保管庫導入に關することとして①保管庫の導入費用、②導入年、③保管庫占有面積を、またその他非感染性産業廃棄物保管に要する材料についての④年間費用、⑤算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（廃棄物保管に要する其他材料の例：非感染性産業廃棄物ラベルの購入）
- 問2：2004年度に使用していた非感染性産業廃棄物の処理について、①収集運搬業者への委託費用、②処分業者への委託費用を記入欄に記入して下さい。

- 問3：問1～3で回答した以外で2004年度における非感染性産業廃棄物の処理・保管に要する費用について、①費用項目、②およその年間費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。（例：賠償責任保険等）

《 記 入 欄 》

【問1：産業廃棄物（非感染性）保管（2004年度）】

廃棄物の保管庫導入			廃棄物保管に要する其他材料	
①保管庫導入費用[千円/年]	②導入年	③保管庫占有面積[m <sup>2</sup> ]	④年間費用[千円/年]	⑤算出の根拠（量・単価等）

【問2：産業廃棄物（非感染性）処理委託費用（2004年度）】

①収集運搬業者への委託費用 [千円/年]	②処分業者への委託費用[千円/年]

【問3：其他産業廃棄物（非感染性）処理・保管に要する費用（賠償責任保険等）（2004年度）】

	①費用項目	②費用[千円/年]	③算出の根拠（量・単価等）
1			
2			
3			



1 3. 安全管理に係る確認作業等に要する活動状況について

問1：現在実施している安全管理のための医療者間、医療者・患者間の確認作業について①活動内容、②実施件数、各活動に要する時間等（算出の根拠）、③開始年度について記入欄の②に記入して下さい。（例：患者誤認防止、医薬品等の誤認防止、調剤の確認、手術部位誤認防止）

問2：現在実施している安全管理のための診療行為前の説明と同意を得る活動について①説明と同意が必要な診療行為、②説明と同意の実施件数、所要時間（算出の根拠：各診療行為数等）、③開始年度について記入欄に記入して下さい。（例：手術、放射線使用等）

《 記入欄 》

【問1：安全管理のための医療者間、医療者・患者間の確認作業】

	①活動内容	②確認作業の実施件数、各活動に要する時間（算出の根拠）	③開始年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

【問2：診療行為前の説明と同意】

	①説明と同意が必要な診療行為	②説明と同意の実施件数、所要時間（算出の根拠）	③開始年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

1 4. 安全管理、医薬品安全使用に係る機能連携について

問：他の病院・診療所等の医療機関や保険薬局・訪問看護ステーション等との機能連携（病病連携・病診連携・薬薬連携等）のうち、安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携に関して ①実施内容（他の病院・診療所等の医療機関や保険薬局・訪問看護ステーションとの間で、当該患者について必要な診療情報を文書などにより相互に共有化する等）②実施回数 ③所要時間 ④連携先を記入して下さい。

《 記入欄 》

【安全管理・医薬品安全使用に係る機能連携】

問	①実施内容	②実施回数／月	③所要時間／回	④連携先
1		回	分	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

15. 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に係るその他の活動の取組状況について

問：これまでの1～14の分類に該当しないもの、現在実施している安全管理や感染制御、医薬品安全使用のための諸活動の状況について①活動内容、②件数、頻度、所要時間（算出の根拠）について記入欄に記入して下さい。（例：警備体制の強化、医療用ガスボンベの点検等）

《 記 入 欄 》

	①現在実施している その他の活動内容	②実施件数、各活動に要する時間（算出の根拠）
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

医療安全に関するコスト調査（保険薬局票）

【基本情報】

調査用整理番号			
項 目		平成16年度	平成17年度
処方の状況 ※各年度6月の1か月間	1. 調剤報酬明細書件数	件	件
	2. 処方せん枚数	枚	枚
	3. 処方せん受付回数	回	回
職員の状況 (常勤換算) ※各年度6月30日現在	1. 薬剤師	人	人
	2. 事務職員	人	人
	3. その他の職員	人	人
営業収支 ※平成16年度の1年間	1. 営業収入	千円	
	(再掲) 保険調剤収入	千円	
	2. 営業費用	千円	
営業状況	週平均営業日数	日	日

※ 平成17年6月30日現在の状況をご記入下さい。

施設基準等の届出状況	1. 基準調剤加算1	3. 無菌製剤処理加算
	2. 基準調剤加算2	4. 在宅訪問管理指導
調剤基本料の請求区分	1. 調剤基本料1	3. 調剤基本料3
	2. 調剤基本料2	4. 調剤基本料3の特例
感染性廃棄物処理の委託状況	1. 全部委託    2. 一部委託    3. 委託していない	

1. 安全管理に係る人員配置状況について

問1: 管理薬剤師及び安全管理に係る責任者、担当者の職名を、専任、兼任にかかわらず全て記入欄の①に記入して下さい。  
(例: 管理薬剤師、安全管理責任者、リスクマネージャー、安全管理担当者、安全管理推進者等)

問2: ①に記入した職名に任命されている人の②職種、③経年数を選んで下さい。

問3: ④には①に記入した担当者の全活動時間のうち、安全管理に係る取組の活動時間の割合を2004年6月の活動時間に基づいて記入して下さい。  
(1週間毎日安全管理に係る活動している場合は100%、1週間の内1日だけ活動している場合は20%、半日だけ活動している場合は10%と考え  
ると把握しやすいです)

《 記 入 欄 》

	①安全推進者の職名	②職種 (該当するものに○を記入)	③経年数	④安全管理活動割合 (%)
1		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
2		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
3		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
4		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
5		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
6		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
7		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	
8		薬剤師・事務・その他 ( )	<input type="checkbox"/> 10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上	

2. 安全管理に係る会議・委員会・打合せの開催状況について

問1: 2004年度に開催した安全管理(薬局内の安全管理、感染制御、医薬品安全使用)に係る全ての会議・委員会・打合せの名称を記入欄の①に記入して下さい。(例: 安全対策を検討、決定する安全管理会議、事故調査委員会、安全管理についての定例会議等)

問2: ①に記入した会議・委員会・打合せの構成員の職種をそれぞれの会議について種類別に記入欄の②に記入して下さい。

問3: ①に記入した会議・委員会・打合せを2004年に開催した回数と平均的な開催時間を記入欄の③に記入して下さい。

注: 会議などの準備に特に時間や人手がかかった場合があれば、それも行を変えてご記入ください。(例: 事故調査委員会のための調査資料作成)

《 記 入 欄 》

会議種類	① 2004年度に開催した会議・委員会・打合せ	②各会議・委員会・打合せの構成員数					③会議時間	
		薬剤師		事務		その他	開催回数	平均時間
		経年数 10年未満	経年数 10年以上	経年数 10年未満	経年数 10年以上			
1		人	人	人	人	人	回	時間
2		人	人	人	人	人	回	時間
3		人	人	人	人	人	回	時間
4		人	人	人	人	人	回	時間
5		人	人	人	人	人	回	時間
6		人	人	人	人	人	回	時間
7		人	人	人	人	人	回	時間
8		人	人	人	人	人	回	時間
9		人	人	人	人	人	回	時間
10		人	人	人	人	人	回	時間

3. 安全管理に係る研修の取組状況について

問1：2004年度に職員が参加した安全管理に係る全ての教育・研修等を記入欄の①に記入して下さい。薬局内部の研修、外部研修、学会への参加も含みます。

問2：①に記入した研修の参加者数をそれぞれの研修について職種別に記入欄の②に記入して下さい。

問3：①に記入した研修の1回当たりの開催時間を記入欄の③に記入して下さい。

問4：①に記入した教育・研修の種類を記入欄の④に記入して下さい。

問5：①に記入した研修の諸経費（テキスト印刷費・謝金・旅費等）を記入欄の⑤に記入して下さい。

《 記入欄 》

	① 2004年度に実施または受講した教育・研修	②各教育・研修の職種別参加者数					③ 開催時間	④種類	⑤ 諸経費
		薬剤師		事務		その他			
		経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上				
1		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
2		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
3		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
4		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
5		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
6		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
7		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
8		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
9		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	
10		人	人	人	人	人	時間	内部研修・外部研修 学会 千円	

4. インシデントレポート作成・分析等の取組状況について

問1：2004年度の薬局内の事故やインシデントレポートの作成・分析等について、①活動内容、②件数、所要時間等を記入して下さい。（例：【作成】当事者のレポート記入、所属長による確認、データベースへの登録等含む、【分析】原因分析、分析インシデント事例検討会、改善策立案・検証等含む）

問2：薬局外の事故報告制度への関わりについて③活動内容、④件数、所要時間等を記入して下さい。

問3：インシデントレポートの作成・分析、外部報告制度への参画等の活動を実施するに当たり必要となる設備・器材、諸経費について⑤項目、⑥数量、費用等について記入欄に記入して下さい。

（例：コンピュータ、分析用ソフトウェア、複写・印刷費、消耗品費、参加費、交通費等）

問4：事故・インシデントレポートの分析を通じて講じた再発防止策（業務改善内容）を⑦へ記入してください。

《 記入欄 》

【作成・分析活動】

問1	①活動内容	②件数、所要時間等（算出の根拠）
1		
2		
3		
4		
5		

【薬局外の報告制度への参画等】

問2	③活動内容	④件数、所要時間等（算出の根拠）
1		
2		

【活動に要した設備・器材】

問3	⑤項目	⑥数量、費用等（算出の根拠）
1		
2		
3		

【再発防止策】

問4	⑦再発防止の取り組み策
1	
2	
3	

5. 安全管理全般に係るマニュアル・手順書・申し合わせ事項の作成状況について

問：現在使用している調剤業務全般（安全管理を含む）に関して作成したマニュアル・手順書・申し合わせ事項について、①マニュアル・手順書・申し合わせ事項の種類、②作成した職種別担当者数、③作業の1人あたり平均所要時間、④新規作成年度と最近の改訂年度、⑤マニュアル・手順書・申し合わせ事項作成に要した諸経費（印刷経費、資料費等）を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

	①現在使用している マニュアル・手順書・申し合わせ事項 の種類（名称・内容）	②各マニュアル・手順書・申し合わせ事項作成の担当者数					③ 所要時間 (概算)	④作成年度		⑤諸経費
		薬剤師		事務		その他		新規作成 年度	最近の改 訂間隔 [年]	
		経験年数 10年未満	経験年数 10年以上	経験年数 10年未満	経験年数 10年以上					
1		人	人	人	人	人	時間			千円
2		人	人	人	人	人	時間			千円
3		人	人	人	人	人	時間			千円
4		人	人	人	人	人	時間			千円
5		人	人	人	人	人	時間			千円
6		人	人	人	人	人	時間			千円
7		人	人	人	人	人	時間			千円
8		人	人	人	人	人	時間			千円
9		人	人	人	人	人	時間			千円
10		人	人	人	人	人	時間			千円

6. 調剤業務における安全対策の実施状況について

- 問1：薬品調剤後に複数薬剤師が実施する鑑査（調剤後鑑査）の実施状況について、①1日あたり平均処方箋受付枚数、②1日あたり平均調剤後鑑査実施剤数、③1剤あたり平均調剤後鑑査実施人数、④1剤あたり平均調剤後鑑査に要する時間、⑤調剤後鑑査の業務内容を記入してください。
- 問2：特に医薬品に関する事故の発生が多い散・水剤に関し、調剤ミス防止に関して実施している対策について⑥実施内容（散・水剤の調剤ミス防止に関する行為：分包誤差の確認、秤量メモとの突合、小児薬用量チェック等）、⑦それぞれの実施回数/日、⑧所要時間/回 についてご記入ください。
- 問3：調剤に関する事故防止のために導入した機器について⑨機器又はソフトウェア名及び⑩導入年度、⑪導入時点の状況、⑫調達方法、⑬購入額、⑭維持費、⑮法定償却年数、⑯利用予定年数について記入してください。（例：散・水剤に関する調剤ミスを防止するためのIT機器、各種薬剤（錠剤、注射薬、外用薬等）の調剤ミスを防止するためのIT機器、患者の禁忌薬剤や過量処方などを確認するIT機器、自動分包機など）

《 記入欄 》

【調剤業務に関する確認作業】

①処方箋受付枚数/日	②調剤後鑑査実施剤数/日	③調剤後鑑査実施人数/剤	④調剤後鑑査に要する時間/剤
枚	剤	人	分
⑤調剤後鑑査における業務内容			

【散・水剤調剤に関する安全対策】

⑥実施内容	⑦実施回数/日	⑧所要時間/回
1	回	分
2	回	分
3	回	分

【調剤事故防止のための機器導入状況】

⑨事故防止を目的として導入している機器	⑩導入年度	⑪導入時点の状況	⑫調達方法	⑬購入額[千円]または賃借額[千円/年]	⑭維持費[千円/年]	⑮法定償却年数	⑯利用予定年数
1		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

7. 医薬品等の安全管理の取組状況について

- 問1: 医薬品事故の発生防止へ向け、規制医薬品（麻薬、毒薬・劇薬）や、特に安全管理が必要な対象薬剤を「リスト化」していますか。①実施の有無をご記入ください。また、リスト化している場合、②参加した職種別人数、③1人あたりの平均所要時間、④要した諸経費をご記入ください。
- 問2: 規制医薬品（麻薬、毒薬・劇薬）や、特に安全管理が必要な薬剤を他薬と区別して保管・管理していますか。①実施の有無をご記入ください。また実施している場合、②参加した職種別人数、③1人あたりの平均所要時間、④要した諸経費、⑤所要面積をご記入ください。
- 問3: 規制医薬品（麻薬、毒薬・劇薬）や、特に安全管理が必要な薬剤について、装置瓶や調剤棚に【用法・用量】等が記載されていますか。①実施の有無をご記入ください。また、実施している場合、②参加した職種別人数、③1人あたりの平均所要時間、④要した諸経費をご記入ください。
- 問4: 特に安全管理が必要な薬剤や注意が必要な薬剤（複数規格有、名称類以外、外観類以外）の調剤ミスを防ぐ方策として注意掲示、注意扉等の確認を実施していますか。①実施の有無をご記入ください。また、実施している場合、②参加した職種別人数、③1人あたりの平均所要時間、④要した諸経費をご記入ください。
- 問5: 医薬品の検収について、②参加した職種別人数、③1ヶ月あたりの平均所要時間、④要した諸経費をご記入ください。
- 問6: 受発注及び納品時点の薬剤の取り間違えや、単位・規格・濃度などの間違いを防ぐために導入している機器（ハードウェア、ソフトウェアを含む）について⑥機器又はソフトウェア名及び⑦導入年度、⑧導入時点の状況、⑨調達方法、⑩購入額、⑪維持費、⑫法定償却年数、⑬利用予定年数について記入してください。

【規制医薬品等の保管管理】

問	実施の有無	②職種別参加者数					③所要時間	④諸経費	⑤所要面積
		薬剤師		事務		その他			
		経験年数 10未満	経験年数 10以上	経験年数 10未満	経験年数 10以上				
問1	規制医薬品のリスト化	有・無	人	人	人	人	人	時間	千円
問2	規制医薬品の区分保管	有・無	人	人	人	人	人	時間	千円
問3	装置瓶、調剤棚への用法等の記載	有・無	人	人	人	人	人	時間	千円
問4	特に安全管理の必要な薬剤の注意掲示	有・無	人	人	人	人	人	時間	千円
	特に安全管理の必要な薬剤の注意扉等の確認	有・無	人	人	人	人	人	時間	千円
問5	医薬品の検収	有・無	人	人	人	人	人	時間/月	千円

【受発注・納品に係る機器等】

問6	⑥導入項目	⑦導入年度	⑧導入時点の状況	⑨調達方法	⑩購入額[千円]または賃借額[千円/年]	⑪維持費[千円/年]	⑫法定償却年数	⑬利用予定年数
1			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
2			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
3			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
4			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				
5			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 更新・追加	<input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> リース・賃借				

8. 服薬に関する安全管理の取組状況について

- 問1: 服用時の事故防止へ向け実施している機能連携（疑義照会を含む）について①実施内容（薬剤師による医療機関への疑義照会や薬局間または病院の薬剤部等との間で、当該患者に対する服薬指導等の必要な情報を文書などにより相互に共有化）②実施件数、③1件あたりの所要時間を記入してください。
- 問2: 医薬品による事故防止へ向け患者対応に関して④実施内容（事故防止へ向け、患者の求めに応じ、緊急時や必要時に薬剤師が電話等による対応を行う等）⑤実施件数、⑥1件あたりの所要時間を記入してください。
- 問3: 特に服薬管理が必要な薬剤（リウマトレックスなど）について実施している⑦指導内容（患者の服薬状況などを薬歴等を用いた管理指導等）⑧実施件数、⑨1件あたりの所要時間を記入してください。
- 問4: 在宅自己注射（インスリン、ヒト成長ホルモン等）に係る安全対策について⑩実施内容（用法・用量など患者への服薬指導、保管管理その他の留意事項）⑪実施件数、⑫1件あたりの所要時間を記入してください。

【事故防止に向けた機能連携（疑義照会を含む）】

問1	①実施事項	②実施件数/月	③所要時間/件
1		件	分
2			
3			

【事故防止に向けた患者対応】

問2	④実施事項	⑤実施件数/月	⑥所要時間/件
1		件	分
2			
3			

【特定の薬剤についての指導】

問3	⑦実施事項	⑧実施件数/月	⑨所要時間/件
1		件	分
2			
3			

【在宅自己注射に係る安全対策】

問4	⑩実施事項	⑪実施件数/月	⑫所要時間/件
1		件	分
2			
3			

9. 副作用防止に関する取組状況について

問1: インターネット環境の整備など安全性情報等を収集・管理する環境が整っていますか。①整備内容、②導入初期費用、③維持費用について記入してください。

問2: 医薬品回収情報等に対応するため、対象薬剤から該当患者を迅速に特定できる仕組み（IT機器など）を導入してしていますか。④仕組みの具体的内容、⑤導入初期費用、⑥維持費用について記入してください。

【薬物相互作用・副作用防止に必要な安全情報収集・管理体制整備状況】

問1	①整備項目	②初期費用	③維持費用
1		千円	千円
2		千円	千円
3		千円	千円

【医薬品回収情報へ対応するための患者特定の仕組み整備状況】

問1	④仕組みの具体的内容	⑤初期費用	⑥維持費用
1		千円	千円
2		千円	千円
3		千円	千円

10. 感染制御および無菌製剤に係る取組状況について

問1: 感染防止を目的とした取り組みとして、薬局が使用済み注射針等を回収する旨の患者広報、感染性廃棄物の分別保管、感染性廃棄物業者との契約を実施していますか。各々について、①実施の有無、②費用についてご記入ください。

問2: 無菌または無菌的製剤処理を行うためのクリーンベンチがありますか。③有無をご記入ください。また、有の場合④クリーンベンチの占有面積、⑤クリーンベンチの建設または購入費用をご記入ください。

問3: 無菌または無菌的製剤処理を行うために購入した物品（ローブ、マスク、ゴーグル等）の⑥品目名及び⑦費用、⑧算定根拠をご記入ください。

【感染防止対策への取り組み状況】

問1	①実施	②費用	
1	有・無	年間広報費用	千円
2	有・無	導入費用	千円
3	有・無	年間委託費用	千円

【クリーンベンチの整備状況】

問2	③クリーンベンチの有無	④クリーンベンチの占有面積	⑤クリーンベンチの建設又は購入費用
	有・無	m <sup>2</sup>	千円

【製剤処理に係る物品購入費用】

問3	⑥品目名	⑦購入費用（年間）	⑧算定根拠（数量・単価）
1		千円	
2		千円	
3		千円	

11. 職業感染防止対策について

問：2004年度に実施した職業感染防止のための各種ワザン、抗体検査、ツ反等の実施状況について①実施内容、②概算費用、③算出の根拠（量・単価等）を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

	①2004年度に実施した職業感染防止対策の取り組み内容	②概算費用(千円)	③算出の根拠(量・単価等)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

12. 外部評価（ISO9001、BS7799等による認定・監査）の受審状況について

問1：1999年度以降に新規で受審した全ての外部評価について、①外部評価の名称、②受審年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用（外部コンサルタントへの委託費用を含む）を記入欄に記入して下さい。

問2：1999年度以降に更新した外部評価について、①外部評価の名称、②更新年度、③審査の準備を行った担当者数、④準備のための1人あたり平均所要時間、⑤外部評価の受審費用と情報収集費用（外部コンサルタントへの委託費用を含む）を記入欄に記入して下さい。

《 記入欄 》

【問1：1999年度以降に新規取得した外部評価】

	① 1999年度以降に新規受審した外部評価	② 受審年度	③						④ 1人あたり平均所要時間 【時間】	⑤その他経費	
			薬剤師		事務		その他			受審費用 【千円】	情報収集費用 【千円】
			経験年数 10年未満 【人】	経験年数 10年以上 【人】	経験年数 10年未満 【人】	経験年数 10年以上 【人】	経験年数 10年未満 【人】	経験年数 10年以上 【人】			
1											
2											
3											
4											

【問2：1999年度以降に更新した外部評価】

	① 1999年度以降に更新した外部評価	② 更新年度	③						④ 1人あたり平均所要時間 【時間】	⑤その他経費	
			薬剤師		事務		その他			受審費用 【千円】	情報収集費用 【千円】
			経験年数 10年未満 【人】	経験年数 10年以上 【人】	経験年数 10年未満 【人】	経験年数 10年以上 【人】	経験年数 10年未満 【人】	経験年数 10年以上 【人】			
1											
2											
3											
4											



13. 賠償責任保険について

問1：2004年度に貴局が被保険者となって負担した賠償責任保険の保険料についてご記入下さい。

注：局内で発生した医療行為に起因する医療事故だけでなく、医療施設に起因する医療事故も含めてご記入下さい。

問2：2004年度に貴局に勤務する従事者個人が被保険者となっており、貴局で保険料を負担した賠償責任保険の保険料について職種別にご記入下さい。

注：従事者が個人的に加入しているものについては除いて下さい。

《 記 入 欄 》

【問1：貴局が被保険者となっているもの】

貴局が被保険者となっているもの	円/年
-----------------	-----

【問2：従事者個人が被保険者となっているもの】

	職種	加入人数	年間合計保険料
従事者個人が被保険者となっているもの	薬剤師	人	円/年
	その他職員	人	円/年

14. 安全管理体制、感染制御、医薬品安全使用に係るその他の活動の取組状況について

問：これまでの1～13の分類に該当しないものの、現在実施している安全管理や感染制御、医薬品安全使用のための諸活動の状況について①活動内容、②件数、頻度、所要時間（算出の根拠）について記入欄に記入して下さい。（例：警備体制の強化、医療用ガスボンベの点検等）

《 記 入 欄 》

	①現在実施している その他の活動内容	②実施件数、各活動に要する時間（算出の根拠）
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		